

使用説明書

- ▶ **KM-6030**
- ▶ **KM-8030**



はじめに

KM-6030/KM-8030 をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。

オプション品の正式な商品名は次のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
4000 枚ペーパーフィーダ PF-650	サイドフィーダ
ドキュメントフィニッシャ DF-650	ドキュメントフィニッシャ
マルチジョブトレイ MT-1	マルチジョブトレイ
中折りユニット BF-1	中折りユニット
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード MK-2	キーカード
プリンタ / スキャナキット Print/Scan System (V)	プリンタ / スキャナキット
セキュリティキット Data Security Kit (B)	セキュリティキット

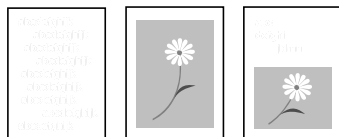
本書では、KM-8030 を 80 枚機、KM-6030 を 60 枚機と記載しております。

本機の機能を存分にご活用ください

基本的なコピー ... 使用説明書 3 章参照

画質の選択

写真原稿もきれいにコピー



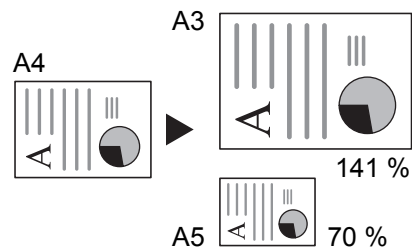
濃度調整

コピーの濃淡を自由に変更



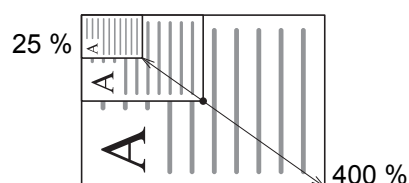
自動倍率

指定したカセットサイズに縮小 / 拡大



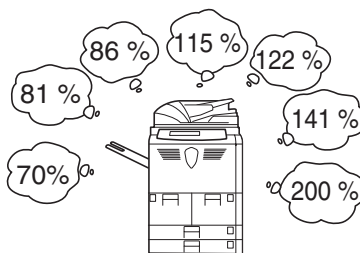
ズームコピー

25 ~ 400 %（原稿送り装置使用時は 25 ~ 200 %）の範囲で縮小 / 拡大



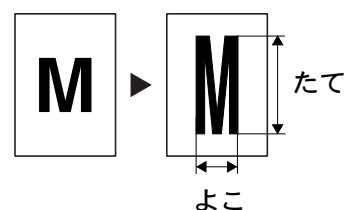
固定変倍

ワンタッチでコピー倍率を選択



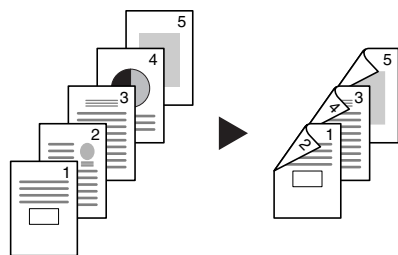
たてよこ独立変倍

たてよこ別々にコピー倍率を選択



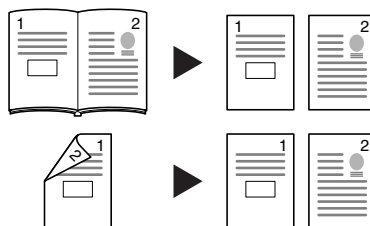
両面コピー

いろいろな原稿を自動で両面コピー



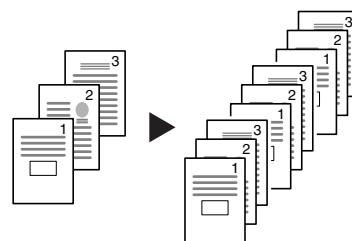
分割コピー

2 ページの原稿を自動的に 1 ページずつコピー



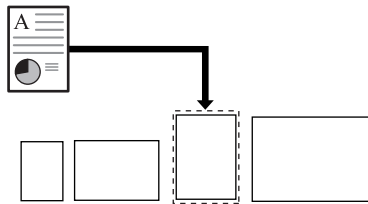
ソートコピー

複数部数を 1 部ごとにコピー



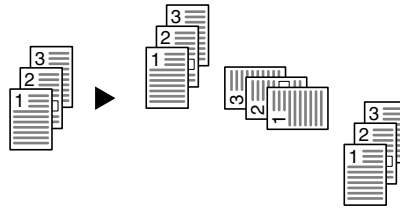
自動用紙選択

原稿と同じサイズの用紙を機械が自動的に選択



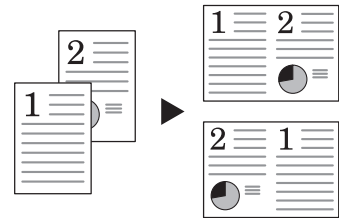
仕分けコピー

1部ずつコピーの方向を変えて仕分けしやすく



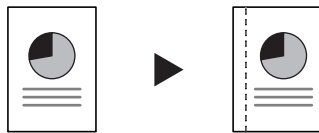
集約コピー

2枚または4枚の原稿を1枚に



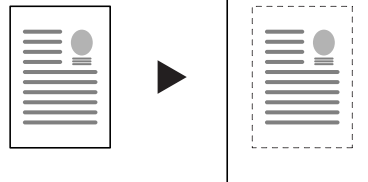
とじしろコピー

コピーにとじしろを作る



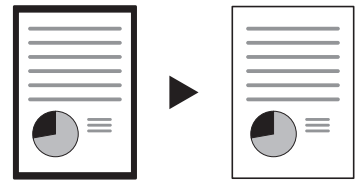
センター移動コピー

用紙の中央にコピー



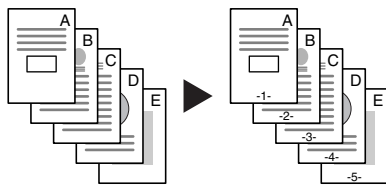
枠消しコピー

原稿のまわりを消去してコピー



ページ付け

コピーにページ数を印字する



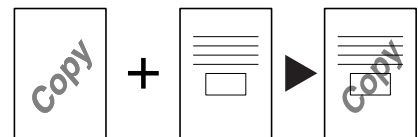
表紙付け

コピーに表紙を付ける



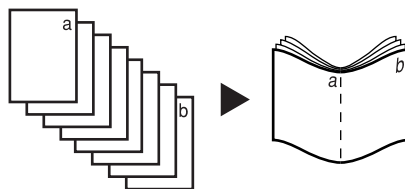
イメージ合成コピー

画像を重ね合わせる



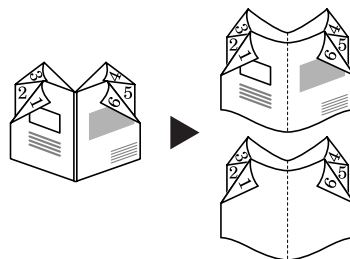
小冊子（シート原稿）

シート原稿を小冊子に



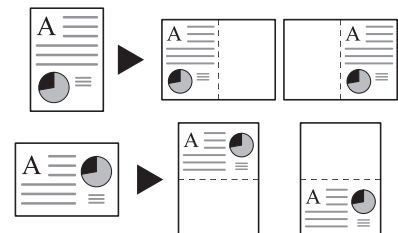
小冊子（見開き原稿）

ブック原稿をそのままに



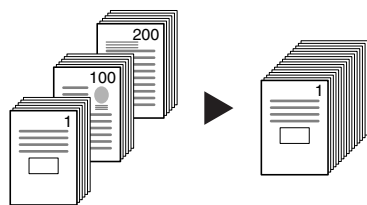
書き込み余白コピー

原稿の横に書き込みスペースを作る



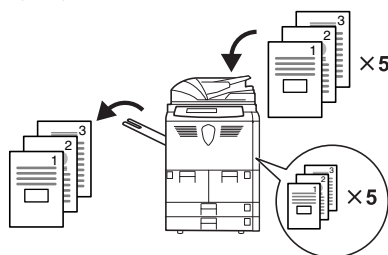
連続読み込みコピー

大量の原稿を一度にコピー



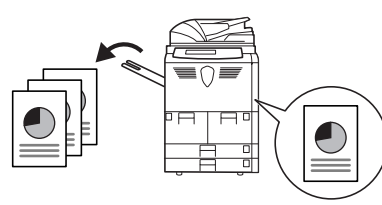
試しコピー

試しコピーをしてから大量部数
を出力



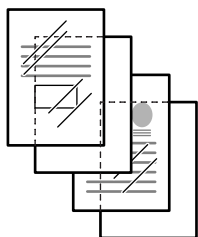
再コピー

コピー終了後に追加分を出力



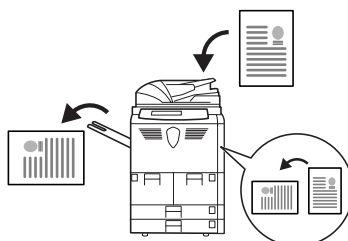
OHP 合紙モード

OHP フィルムの合紙として用紙
を送る



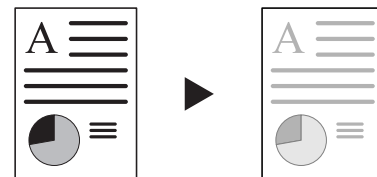
自動回転コピー

原稿の向きに合わせてコピー



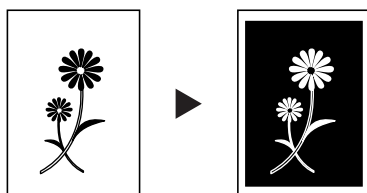
エコプリント

トナー消費量が節約できる



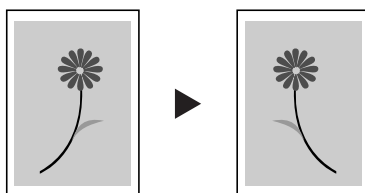
白黒反転コピー

画像を反転してコピー



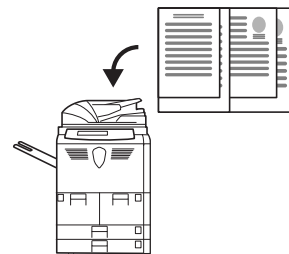
鏡像コピー

原稿を鏡像画像でコピー



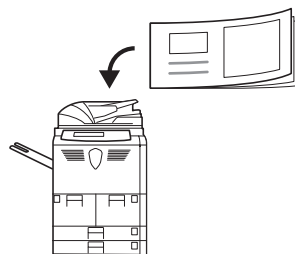
原稿サイズ混載コピー

サイズの異なる原稿を一緒にコ
ピー



伝票原稿コピー

複数枚がひと綴りになった原稿
をコピー



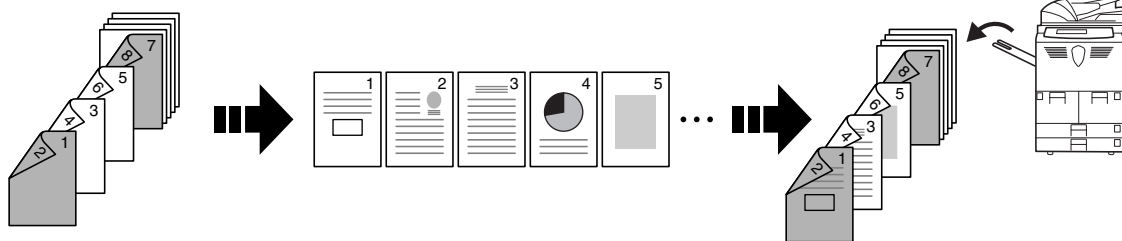
プログラムコピー

コピーワークを記憶する



応用コピー

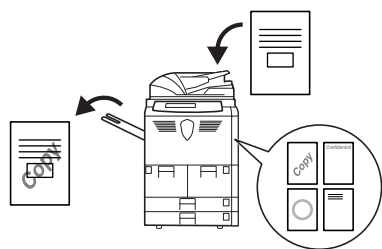
コピーに表紙、中表紙を付け、さらにページごとに縮小/拡大や全ページを一括してコピーできる
枠消しなどの機能を設定して、る



便利な文書 / 出力管理機能 ... 使用説明書 応用編 2 章参照

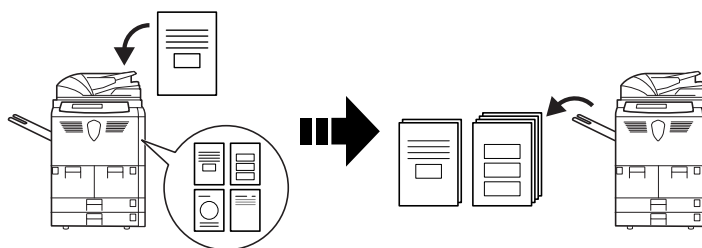
フォーム用ボックス

イメージ合成に使用する画像を登録・管理



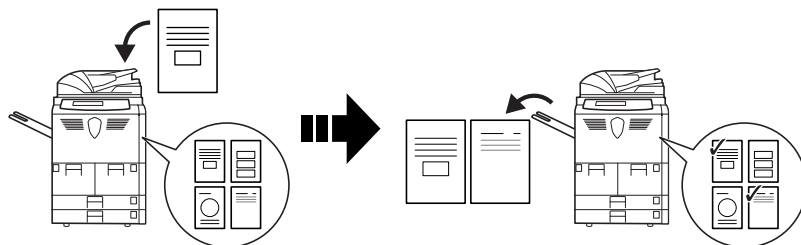
共有蓄積ボックス

よく使用する文書を登録すれば、原稿がなくても、必要なときにコピーできる



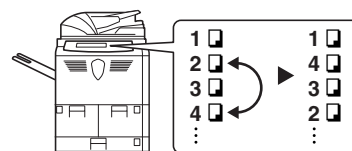
ジョブ結合ボックス

よく使用する文書を登録すれば、必要になった文書を組み合わせ
て一括でコピーできる



出力管理

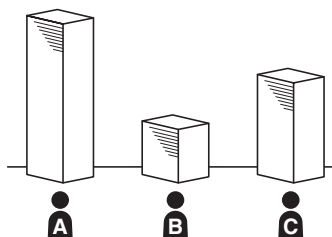
コピーの出力順を変更・管理



本機をより使いやすく ... 使用説明書 応用編 3 章参照

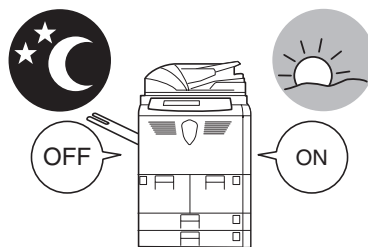
部門管理

暗証番号で枚数管理



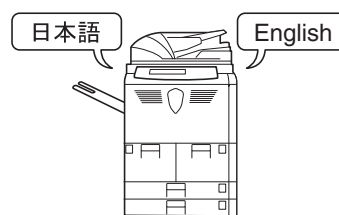
週間予約

電源を自動的に ON/OFF



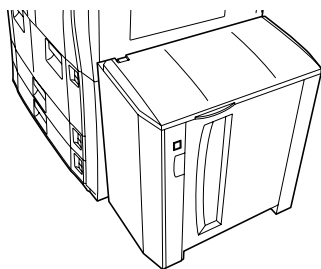
言語切替

メッセージの言語を選択

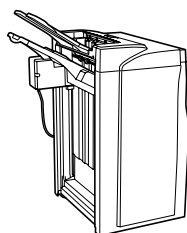


オプションも充実 ...4-1 ページのオプションについて参照

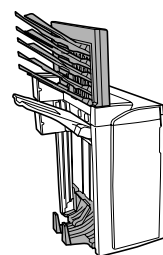
サイドフィーダ



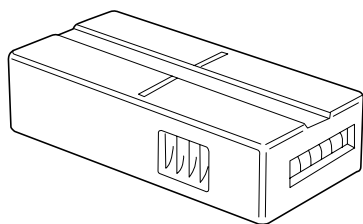
ドキュメントフィニッシャ



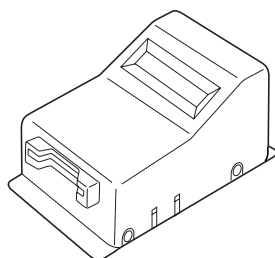
(マルチジョブトレイと中折りユニット装着時)



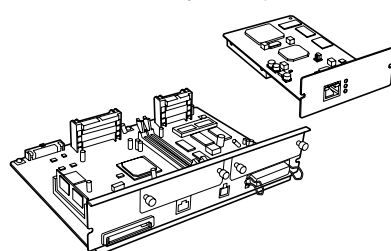
キーカウンタ



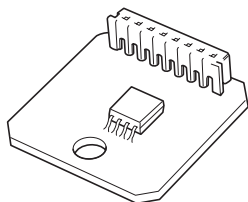
キーカード



プリンタ / スキャナキット



セキュリティキット



安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

- 法律上のご注意 ...viii
- 国際エネルギースタープログラム ...ix
- 本書中の注意表示について ...x
- 注意ラベルについて ...xi
- 機械を設置する時のご注意 ...xii
- 取り扱い上のご注意 ...xiv
- コピー禁止事項 ...xvi

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

国際エネルギースタープログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギースタープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、複写機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「オフモード」を備えていることが必要です。また複写機にプリンタやファクス機能がある場合は、最後に機器を使用してから一定時間経過するとプリンタおよびファクスが待機状態のまま自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないとプリンタおよびファクスが待機状態のまま消費電力を最小にする「スリープモード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

「低電力モード」

最後にご使用になってから 15 分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは 3-19 ページの**低電力モード**をご参照ください。

「オフモード」

最後にご使用になってから 90 分を経過しますと自動的に「オフモード」に移行します。なお「オフモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは 3-20 ページの**スリープモード**をご覧ください。

「スリープモード」(複写機にプリンタおよびファクス機能がある場合)

最後にご使用になってから 90 分を経過しますと自動的に「スリープモード」に移行します。なお「スリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは 3-20 ページの**スリープモード**をご覧ください。

「自動両面機能について」

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面コピー機能を推奨しています。本機は用紙の両面にコピーできる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙の両面にコピーすることで、紙の使用量を軽減することができます。詳しくは 3-11 ページの**両面コピー**をご覧ください。

再生紙

エネルギースタープログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「感電注意」、



「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

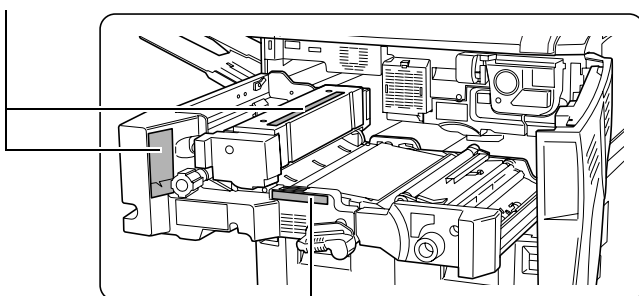
使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

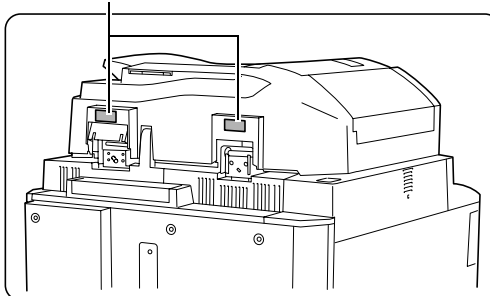
ラベル 1、2

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



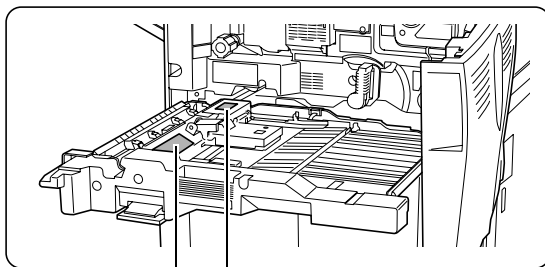
ラベル 8、9

原稿送り装置の支持部には手を触れないでください。指などを挟みけがの原因となることがあります。



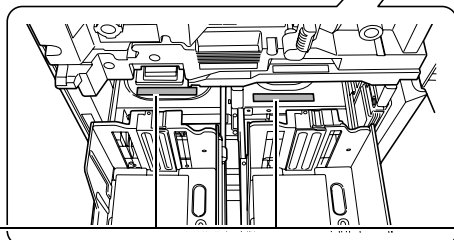
ラベル 3

この部分には高電圧が発生しています。感電事故を防ぐため、絶対に触れないようにしてください。



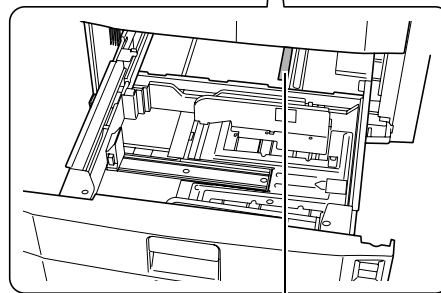
ラベル 4、10

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



ラベル 5、6、7

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



＜お願い＞これらのラベルははがさないようにしてください。



機械を設置するときの注意

設置環境について



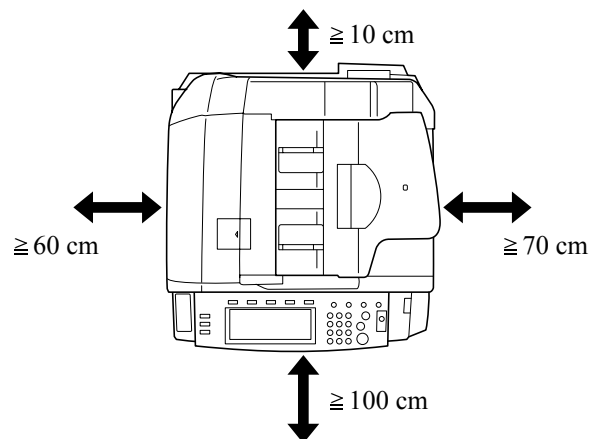
注意

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



本製品を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23℃、湿度 50％が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、キャストにより傷付きやすい床の場合、床材を傷付ける恐れがあります。

複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をするをお勧めいたします。

設置電源・アースについて



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて



本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。





取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて



警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザー光線への被爆のおそれがあります。レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。



注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまつたまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



原稿送り装置を開いた状態のままで放置しないでください。けがの原因となることがあります。



その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

コピー中には次のことをしないでください。

- ・ 前カバーを開ける。
- ・ メインスイッチを切る。
- ・ 電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

本製品は、HDD（ハードディスク）を搭載しています。製品本体の電源を入れたままで製品を移動しないでください。電源を入れた状態で製品本体を移動すると衝撃・振動により HDD（ハードディスク）が破損する可能性がありますので、移動する場合は、必ず製品本体の電源を OFF にしてください。

消耗品の取り扱いについて



注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- ・ トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- ・ トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・ 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- ・ 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたは手差しから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。

④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

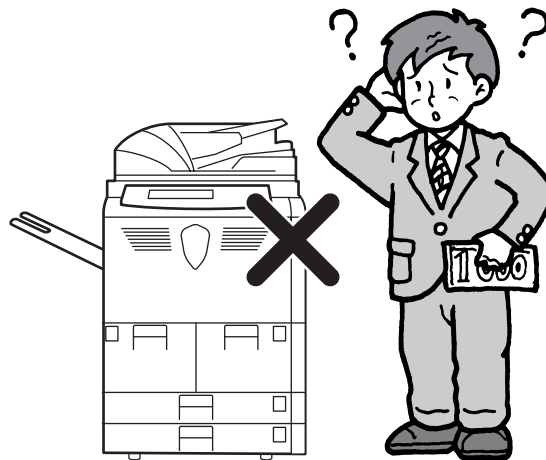
- 通貨及び証券模造取締法
- 外国為替及び国際決済法、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造に関する法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。



本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1 各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称を説明しています。

2 使用前の準備

用紙の補給、原稿のセット方法について説明しています。

3 基本的な操作

簡単なコピーができるまでの内容を説明しています。

4 オプションについて

本製品で利用できる便利なオプション機器を紹介しています。

5 日常のメンテナンス

トナーコンテナの交換方法、本製品の清掃について説明しています。

6 困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本製品の仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書（本書）

本製品の用紙の補給方法、コピーの基本的な操作、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

使用説明書 応用編

コピー機能の詳細、各種の初期設定などについて説明しています。

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネルおよびタッチパネル上のキーを示します。	【スタート】キーを押してください。
「太字」	タッチパネルに表示されるメッセージを示します。	「コピーできます」が表示されます。
参考	補足説明や操作の参考となる情報が書かれています。	参考：－
注意	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項が書かれています。	注意：－

目次

	本機の機能を存分にご活用ください	i
	安全に正しくお使いいただくために	vii
	法律上のご注意	viii
	国際エネルギースタープログラム	ix
	本書中の注意表示について	x
	注意ラベルについて	xi
	機械を設置する時のご注意	xii
	取り扱い上のご注意	xiv
	コピー禁止事項	xvi
	使用説明書について	xix
	付属マニュアルの紹介	xx
	本書の読みかた	xx
1	各部の名称	1-1
	本体	1-2
	操作パネル	1-6
	タッチパネル	1-7
2	使用前の準備	2-1
	用紙の補給	2-2
	カセットおよび手差しを操作部で設定	2-9
	原稿のセット	2-17
3	基本的な操作	3-1
	基本的なコピーのしかた	3-2
	画質の選択	3-4
	濃度調整	3-5
	縮小 / 拡大コピー	3-6
	両面コピー	3-11
	分割コピー	3-14
	ソートコピー	3-16
	割り込みコピー	3-17
	予約コピー	3-18
	低電力モード	3-19
	スリープモード	3-20
4	オプションについて	4-1
	オプション構成	4-2
	サイドフィーダ	4-3
	ドキュメントフィニッシャ	4-3
	キーカウンタ	4-4
	キーカード	4-4
	プリンタ / スキャナキット	4-5
	セキュリティキット	4-5

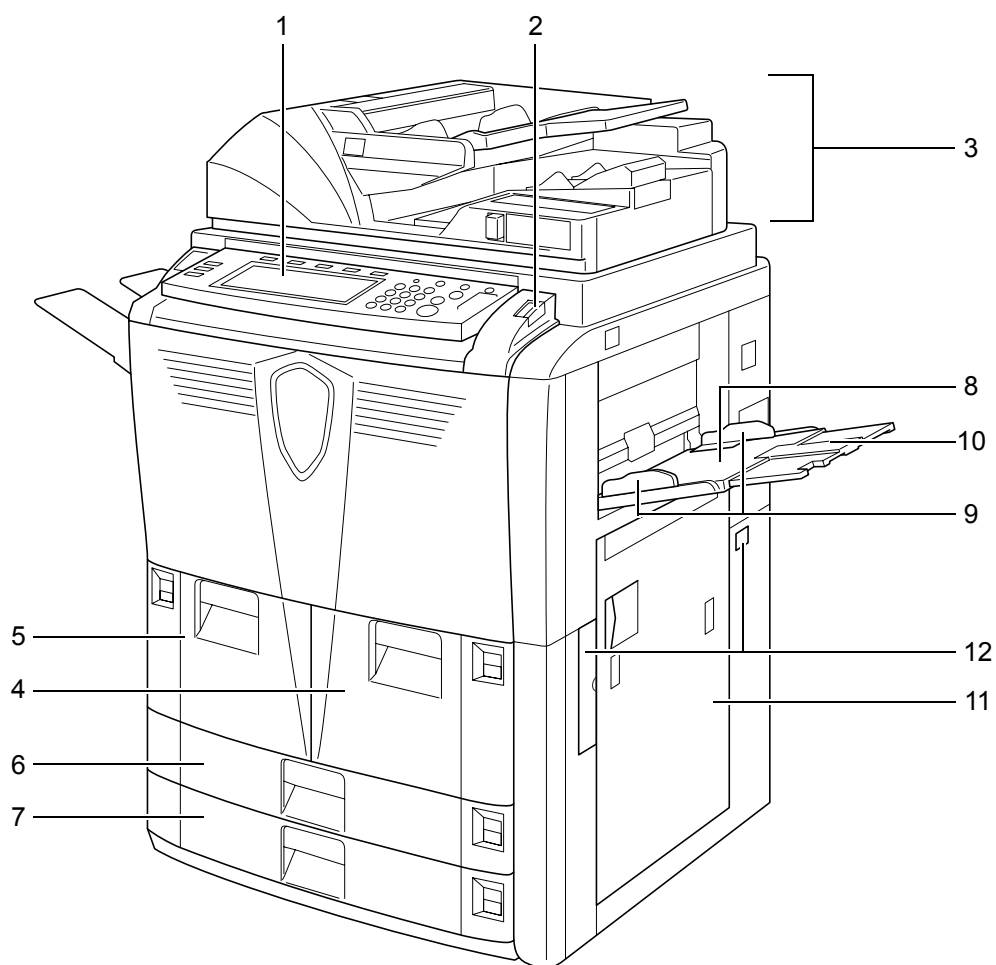
5	日常のメンテナンス	5-1
	清掃	5-2
	トナーコンテナの交換	5-4
6	困ったときは	6-1
	トラブルが発生した場合	6-2
	こんな表示が出たら	6-4
	紙づまりが発生したら	6-8
付録		付録 -1
	仕様	付録 -2
	製品の保守サービスについて	付録 -5
	契約書について	付録 -5
	補修用性能部品について	付録 -5
	廃棄について	付録 -6
索引		索引 -1

1 各部の名称

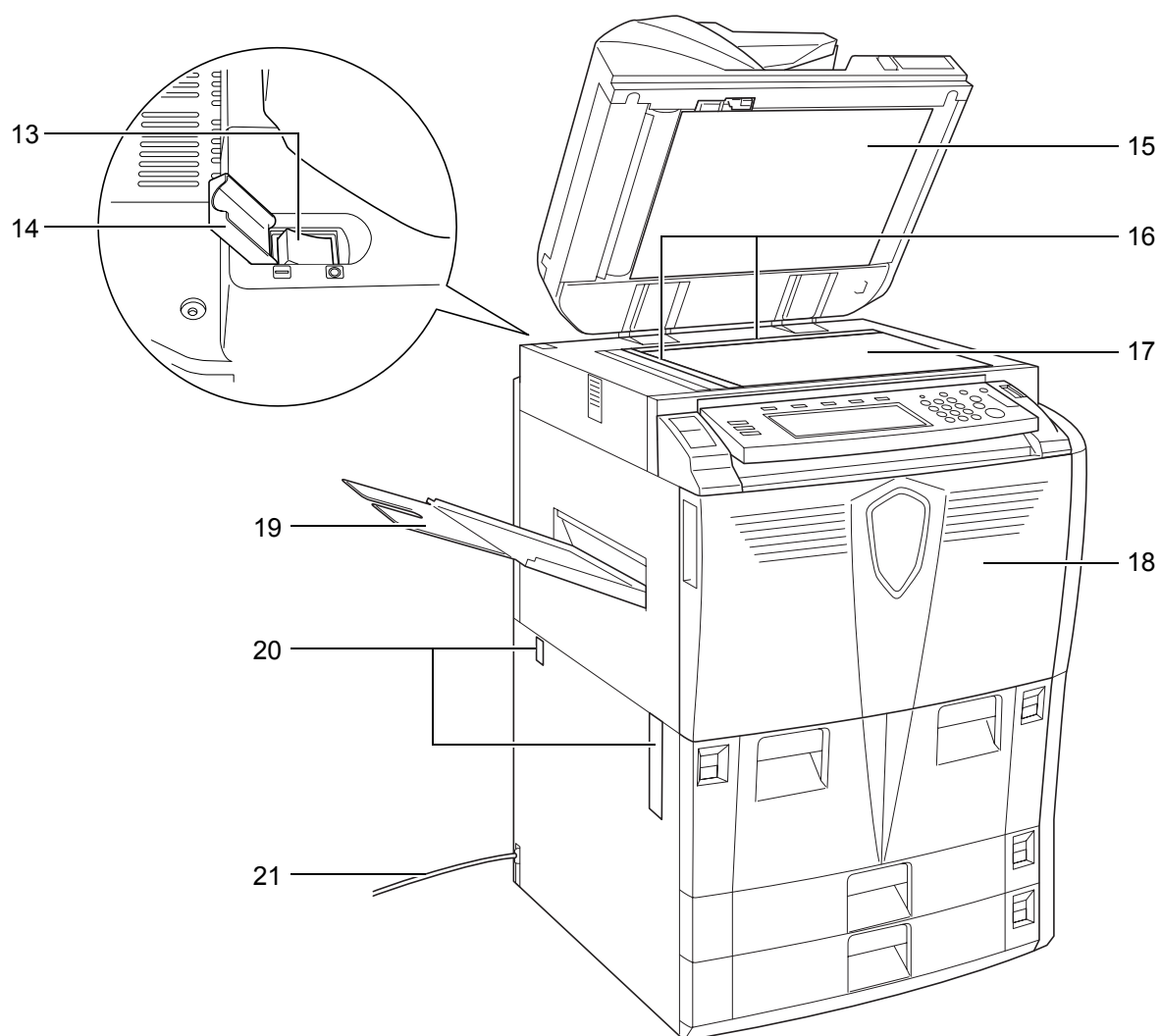
この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

- 本体 ...1-2
- 操作パネル ...1-6
- タッチパネル ...1-7

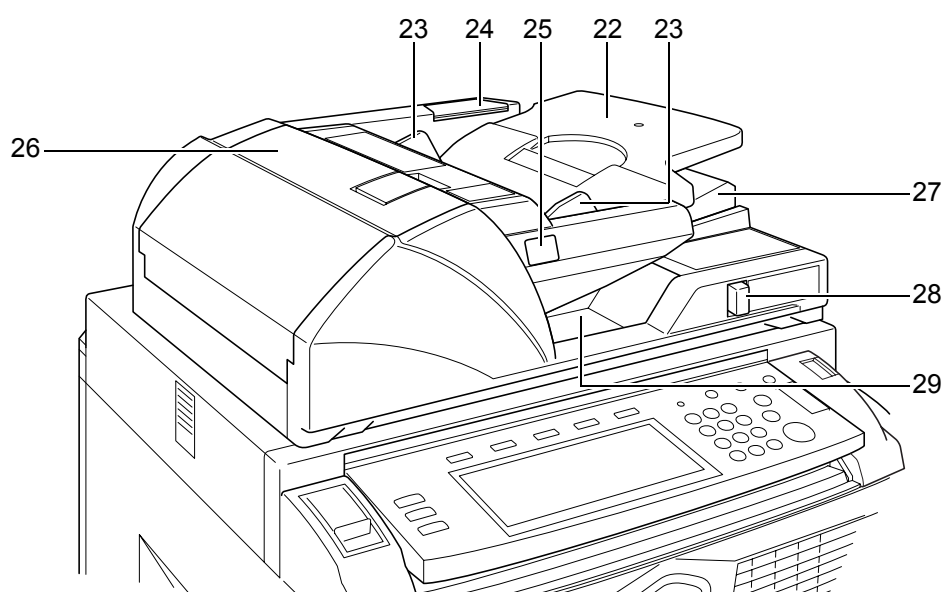
本体



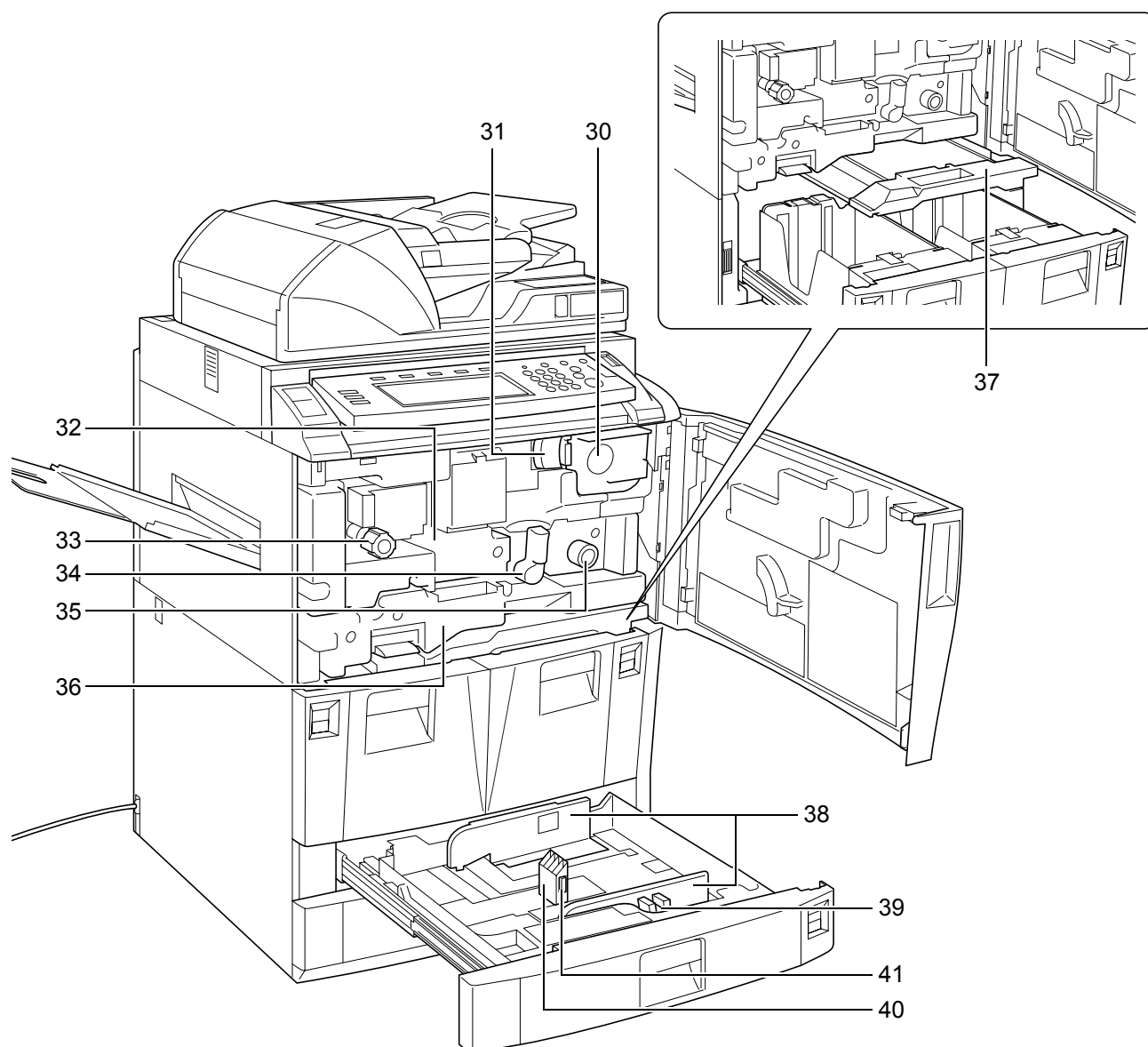
- 1 操作パネル
- 2 操作パネルロックレバー
- 3 原稿送り装置
- 4 カセット 1
- 5 カセット 2
- 6 カセット 3
- 7 カセット 4
- 8 手差し
- 9 スライダ
- 10 手差し補助トレイ
- 11 右カバー
- 12 搬送用ノブ



- 13 メインスイッチ
- 14 メインスイッチカバー
- 15 原稿送り装置下カバー
- 16 原稿サイズ指示板
- 17 コンタクトガラス
- 18 前カバー
- 19 排紙トレイ（オプション）
- 20 搬送用ノブ
- 21 電源コード

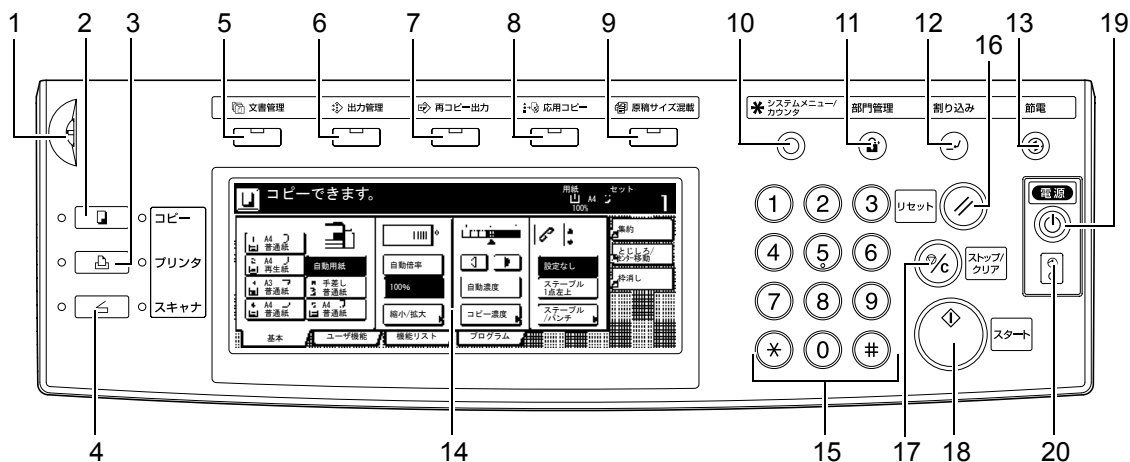


- 22 原稿トレイ
- 23 原稿挿入ガイド
- 24 清掃用布ケース
- 25 原稿セット表示
- 26 原稿送り装置上カバー
- 27 排紙ガイド
- 28 原稿送り装置角度調整レバー
- 29 原稿排紙テーブル



- 30 トナーコンテナ
- 31 トナーコンテナ解除レバー
- 32 搬送ユニット
- 33 ノブ A1
- 34 レバー A2
- 35 ノブ A3
- 36 両面ユニット
- 37 給紙ユニット
- 38 横ガイド
- 39 横サイズ変更つまみ
- 40 縦ガイド
- 41 縦サイズ変更つまみ

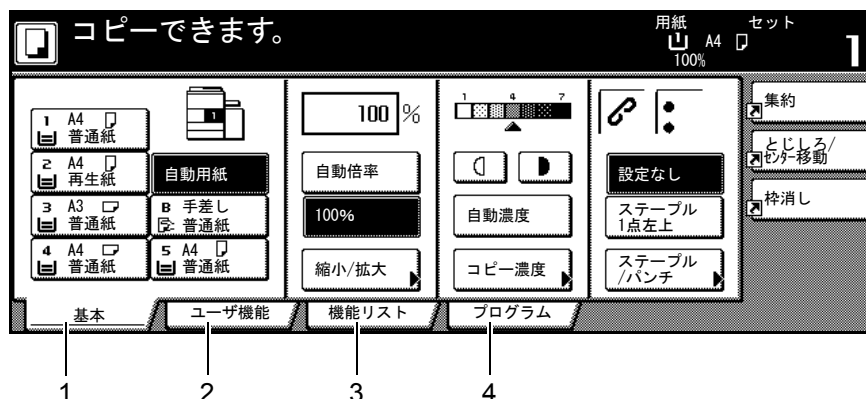
操作パネル



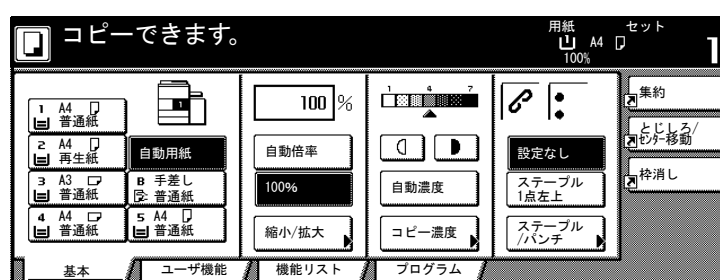
- 1 輝度調整つまみ
- 2 [コピー] キー (表示 / ランプ)
- 3 [プリンタ] キー (表示 / ランプ)
- 4 [スキャナ] キー (表示 / ランプ)
- 5 [文書管理] キー (表示)
- 6 [出力管理] キー (表示)
- 7 [再コピー出力] キー (表示)
- 8 [応用コピー] キー (表示)
- 9 [原稿サイズ混載] キー (表示)
- 10 [システムメニュー / カウンタ] キー
- 11 [部門管理] キー
- 12 [割り込み] キー (表示)
- 13 [節電] キー (表示)
- 14 タッチパネル
- 15 テンキー
- 16 [リセット] キー
- 17 [ストップ / クリア] キー
- 18 [スタート] キー (表示)
- 19 [電源] キー (表示)
- 20 主電源表示

タッチパネル

1、2、3、4 を押すと画面が変わります。



1 〔基本〕画面



2 〔ユーザ機能〕画面



3 〔機能リスト〕画面



4 〔プログラム〕画面



2 使用前の準備

この章では、本機を使用する前に必要な準備について説明します。

- 用紙の補給 ...2-2
- カセットおよび手差しのサイズを操作部で設定 ...2-9
- 原稿のセット ...2-17

用紙の補給

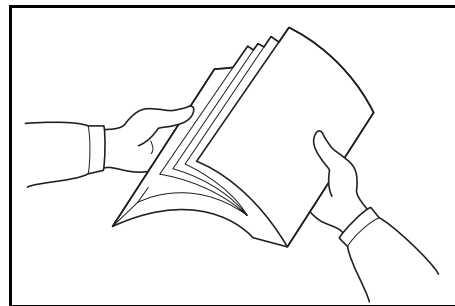
本機は4段のカセットと手差し、およびオプションのサイドフィーダに用紙をセットすることができます。使用できる用紙の詳細は、**使用説明書 応用編の付録、用紙について**を参照してください。

用紙補給時の注意

包装紙から出した用紙はカセットや手差しにセットする前に数回さばいてください。

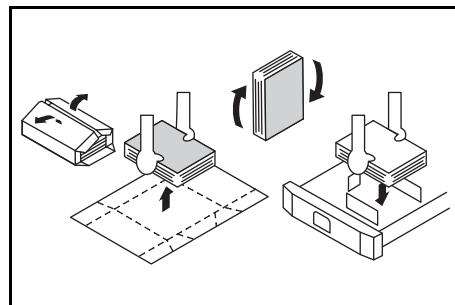
用紙に折れやカール等がある場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。紙づまりの原因となります。

注意：再利用紙（一度コピーした用紙）を使用する場合に、ステープル（ホッチキス）やクリップなどで止められている用紙は使用しないでください。画像不良や故障の原因となります。



カセットに用紙をセットするときは、用紙の開封面を下にしてセットしてください。手差しに用紙をセットするときは、用紙の開封面を上にしてセットしてください。

高温高湿環境で、用紙を取り出し放置すると、湿気でトラブルの要因となりますので、カセットに入れた残りの用紙は用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しに残った用紙も保管袋に入れて密封保管してください。機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。



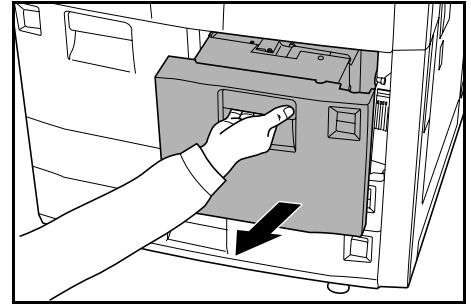
カセット 1、2 への補給

カセット 1、2 には、普通紙および再生紙をセットできます。普通紙（80 g/m²）は各カセットに 1500 枚収納できます。

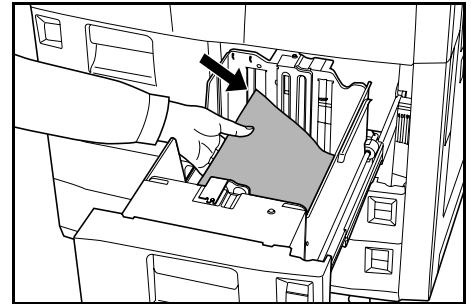
セットできる用紙サイズは A4、B5 または 11 × 8 1/2" です。

注意：カセットにセットする用紙の種類を設定してください。詳細は 2-11 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

- 1 カセットを手前いっぱい引きだしてください。



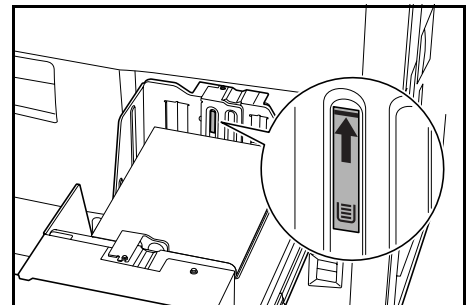
- 2 用紙をカセットの右端に揃えて、セットしてください。



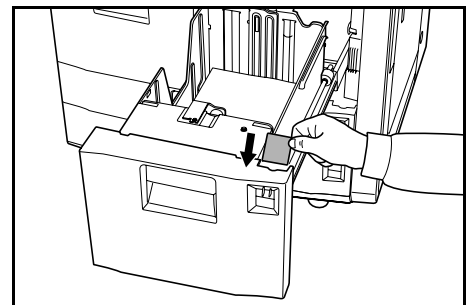
参考：紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。

用紙は開封面を下にしてセットしてください。



- 3 セットした用紙サイズがわかるように、付属の用紙シートをセットしてください。



- 4 カセットを静かに押し込んでください。

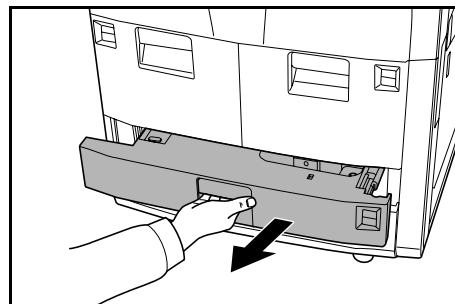
カセット 3、4 への補給

カセット 3、4 には、普通紙や再生紙、カラーペーパーをセットできます。普通紙 (80 g/m²) は各カセットに 500 枚収納できます。

セットできる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K です。

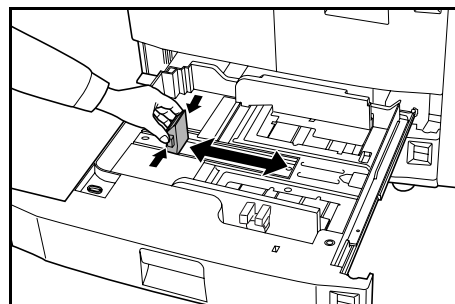
注意：用紙を補給した後に、操作パネルで、カセットにセットする用紙のサイズおよび種類を設定してください。詳細は 2-9 ページの**用紙サイズの設定**、2-11 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

- 1 カセットを手前いっぱい引き出してください。

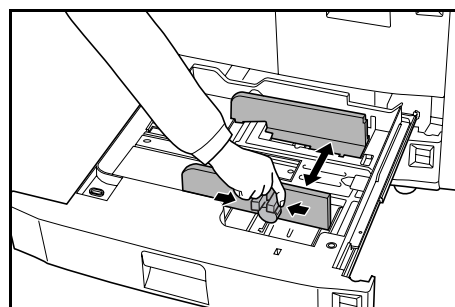


- 2 縦サイズ変更つまみを持って、縦ガイドを用紙サイズに合わせてください。

参考：用紙サイズはカセットに刻印されています。



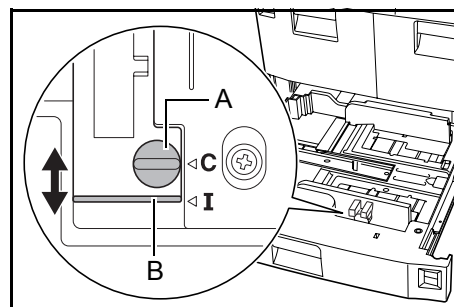
- 3 横サイズ変更つまみを持って、横ガイドを用紙サイズに合わせてください。



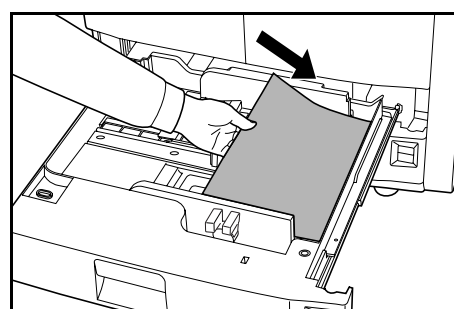
参考：用紙サイズはカセットに刻印されています。

インチサイズとセンチサイズ（A、B 列）の用紙を変更するときは、次の手順でサイズ切替スイッチを変更してください。

- 1 横サイズ変更つまみを持って、横ガイドを用紙サイズ以外の位置に合わせる。
- 2 サイズ切替スイッチ A を 90° 回す。●→●
- 3 サイズ切替レバー B を上（C）または下（I）に移動する。
C：センチサイズ（A、B 列）
I：インチサイズ
- 4 サイズ切替スイッチを 90° 回して固定する。●→●



- 4 用紙をカセットの右端に揃えてセットしてください。

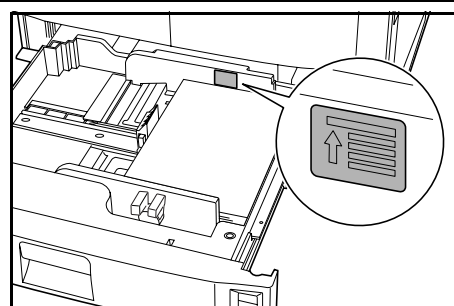


注意：縦サイズおよび横サイズのガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦ガイドまたは横ガイドをセットしなおしてください。紙づまりの原因となります。

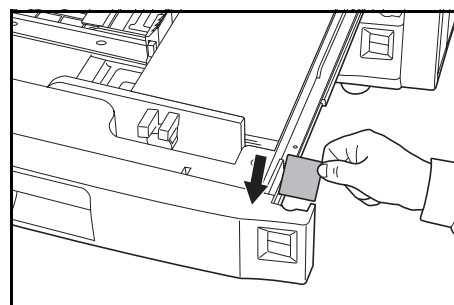
紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は開封面を下にしてセットしてください。



- 5 セットした用紙サイズを示す、付属の用紙シートをセットしてください。



- 6 カセットを静かに押し込んでください。

手差しへの補給

普通紙や再生紙の他、特殊紙（45 ～ 200 g/m²）をセットすることができます。普通紙（80 g/m²）は 100 枚収納できます。

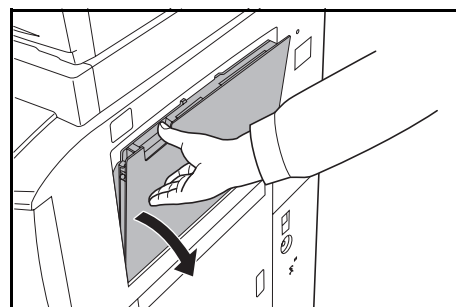
セットできる用紙サイズは A3 ～ B6R、はがき、11 × 17" ～ 5 1/2 × 8 1/2", 8K、16K です。

手差しの用紙収納枚数は次のとおりです。

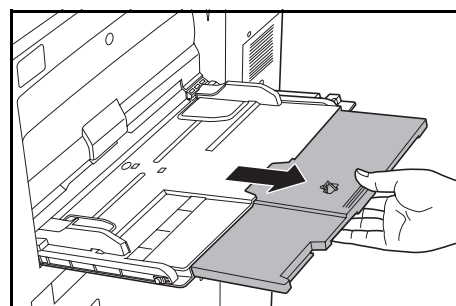
用紙種類	収納枚数
普通紙（80 g/m ² ）、カラーペーパー	100 枚
第二原図	1 枚
更紙、OHP フィルム、官製はがき、のし紙	25 枚

注意：操作パネルで、手差しにセットする用紙のサイズおよび種類を設定してください。詳細は 2-12 ページの手差し用紙サイズの設定、2-15 ページの手差し用紙種類の設定を参照してください。

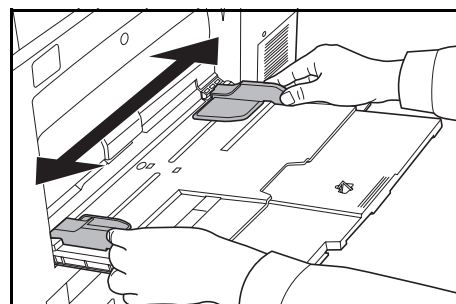
- 1 手差しを開けてください。



A4R 以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばしてください。

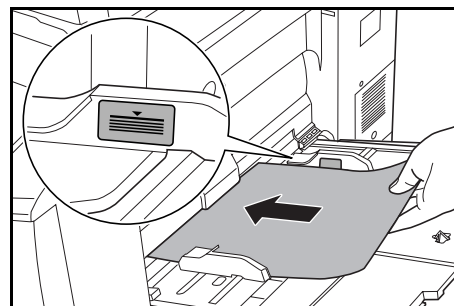


- 2 セットする用紙の幅にスライダを合わせてください。



- 3 用紙をスライダに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。

スライダが用紙の端に当たっているか確認してください。



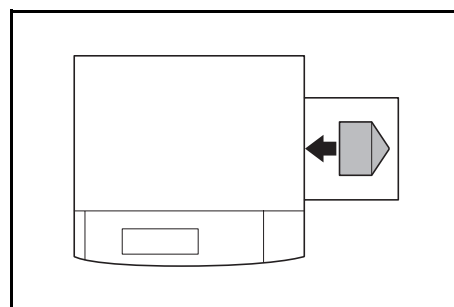
注意：はがきや厚紙など反っている用紙は、必ず反りを直してから使用してください。紙質によっては紙送りされない場合があります。

手差しは、使用するときのみ用紙をセットしてください。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は開封面を上にしてセットしてください。

封筒をセットするときは開封部を開いて、印字する面を上にしてください。開封部が右側になるように、スライダに沿わせて止まる位置まで挿入してください。

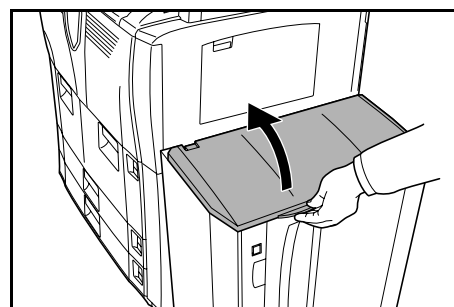


サイドフィーダ（オプション）への補給

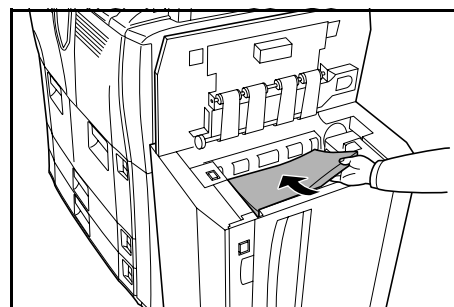
オプションのサイドフィーダには、A4 または B5 の普通紙（80 g/m²）を 4000 枚収納することができます。

注意：操作パネルで、サイドフィーダにセットする用紙の種類を設定してください。詳細は 2-11 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

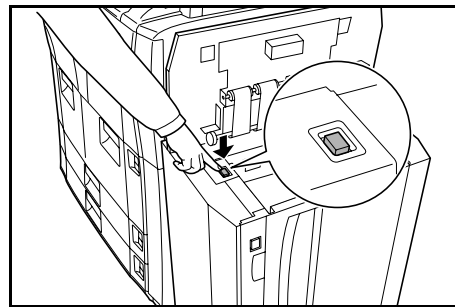
- 1 上カバーを開けてください。



- 2 用紙をフィーダの左奥に揃えて、セットしてください。



- 3 昇降板スイッチを押してください。昇降板が1000枚分下がりますので、さらに用紙を補給することができます。手順2、3を繰り返し、用紙を補給してください。

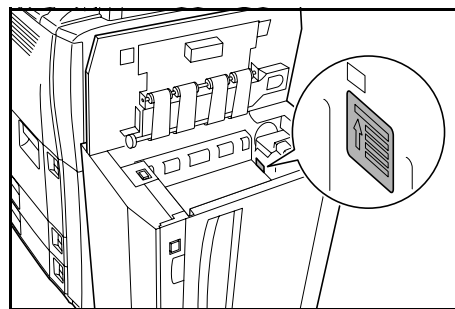


注意：紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は開封面を上にしてセットしてください。

サイドフィーダの右カバーが開いている状態では昇降板は作動しません。



- 4 サイドフィーダの上カバーを閉めてください。

カセットおよび手差しのサイズを操作部で設定

カセット 1、2 およびオプションのサイドフィーダ（カセット 5）に用紙をセットするときは、用紙種類の設定を行ってください。2-11 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

カセット 3、4 に用紙をセットするときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。次の**用紙サイズの設定**および 2-11 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

手差しに用紙をセットするときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。2-12 ページの**手差し用紙サイズの設定**および 2-15 ページの**手差し用紙種類の設定**を参照してください。

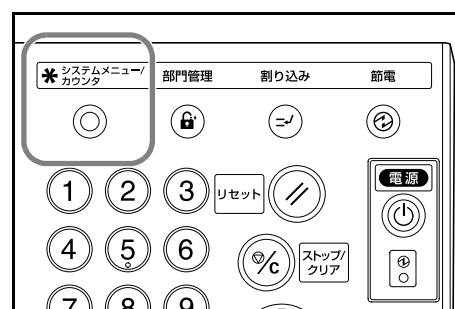
用紙サイズの設定

カセット 3、4 を使用する場合は、用紙のサイズを設定できます。用紙サイズの検知を自動で行うときは「自動検知」を設定し、「センチ」と「インチ」から単位を選択してください。

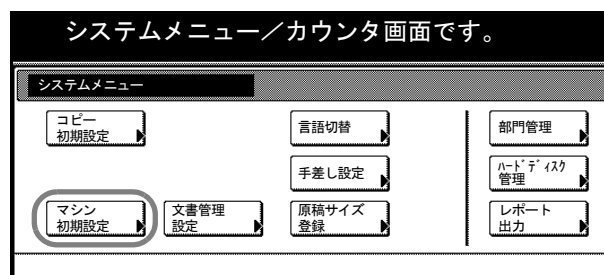
設定できる用紙サイズは次のとおりです。

A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"（Oficio 2）、8K、16K

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

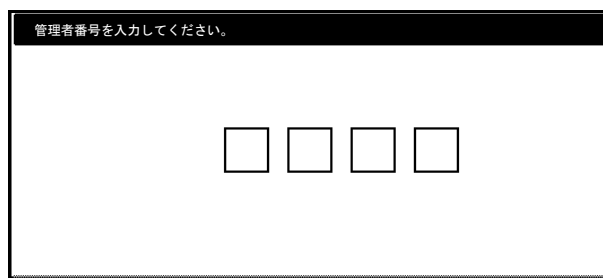


- 2 [マシン初期設定] キーを押してください。

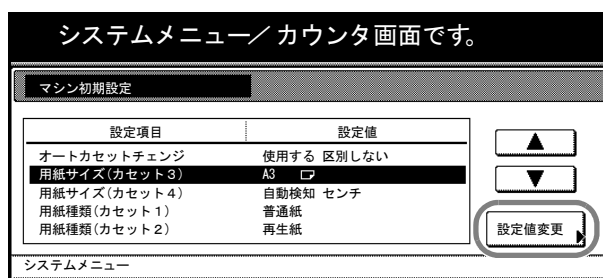


- 3 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は60枚機では6000、80枚機では8000となっています。

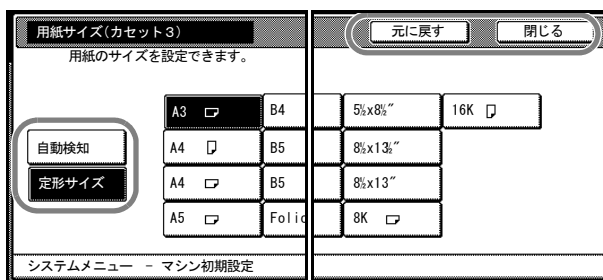
参考：オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は8桁です。工場出荷時は60枚機では60006000、80枚機では80008000となっています。



- 4 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙サイズ (カセット3、4)」から用紙サイズを設定するカセットを選択して、[設定値変更] キーを押してください。



- 5 [自動検知] を選択したときは、単位を選択してください。[定形サイズ] を選択したときは、用紙のサイズを選択してください。
[閉じる] キーを押してください。



キー	説明
----	----

[閉じる]	設定を確認して画面を閉じます。
[元に戻す]	設定をキャンセルして画面を閉じます。

- 6 [閉じる] キーを押してください。
- 7 [終了] キーを押してください。[基本] 画面に戻ります。

用紙種類の設定

カセット 1～5 を使用する場合は、用紙の種類を設定できます。

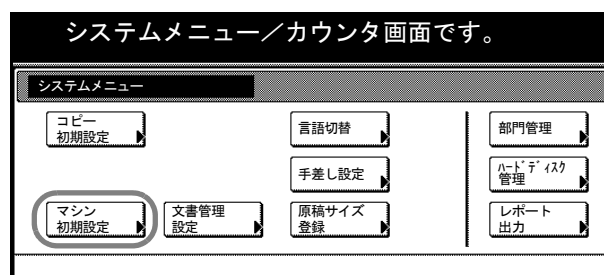
設定できる用紙種類は次のとおりです。

普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム 1～8

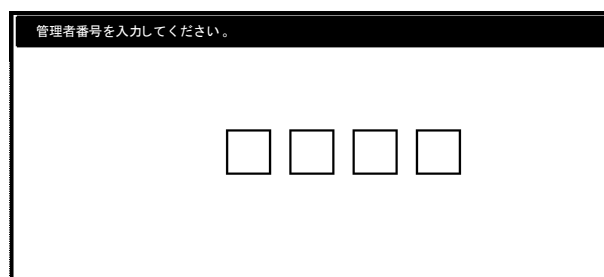
- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。



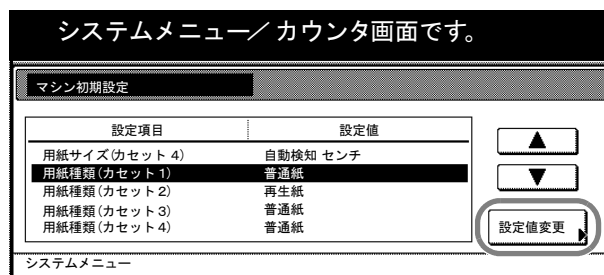
- 2 [マシン初期設定] キーを押してください。



- 3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 60 枚機では 6000、80 枚機では 8000 となっています。

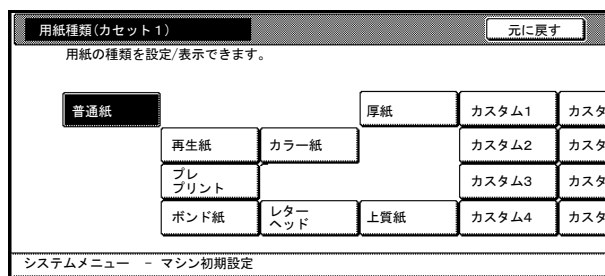


- 4 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙種類 (カセット 1～5)」から用紙種類を設定するカセットを選択して、[設定値変更] キーを押してください。



参考：「カセット 5」はオプションのサイドフィーダを装着したときに表示されます。

- 5 用紙の種類を選択し、[閉じる] キーを押してください。



- 6 [閉じる] キーを押してください。
- 7 [終了] キーを押してください。[基本] 画面に戻ります。

手差し用紙サイズの設定

手差しを使用する場合は、用紙のサイズを設定できます。

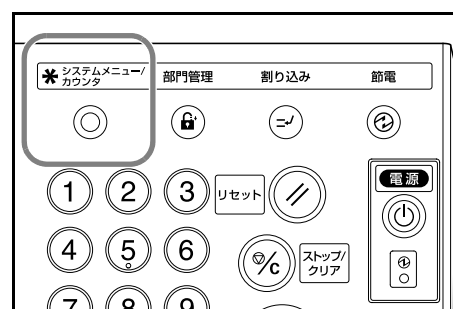
用紙サイズの設定方法と、設定できる用紙サイズは次のとおりです。

設定方法	単位設定	用紙サイズ
自動検知	センチ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R、はがき
	インチ	11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"
その他定形サイズ		ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Monarch、Executive、往復はがき、洋形 2 号、洋形 4 号、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13" (Oficio 2)、8K、16K
サイズ入力		たて：98 ～ 297 mm (1 mm 単位) よこ：148 ～ 432 mm (1 mm 単位)

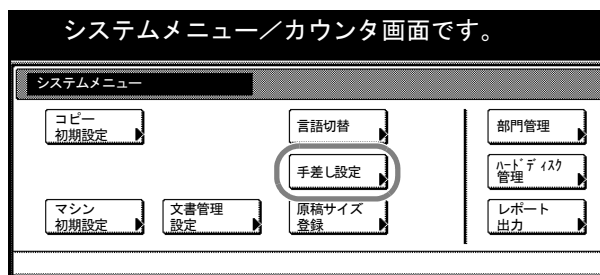
自動検知

用紙サイズの検知を自動で行います。「センチ」と「インチ」から単位を選択してください。

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。



- 2 [手差し設定] キーを押してください。



- 3 [自動検知] キーを押してください。



- 4 [センチ] または [インチ] キーを押してください。
- 5 [閉じる] キーを押してください。[基本] 画面に戻ります。

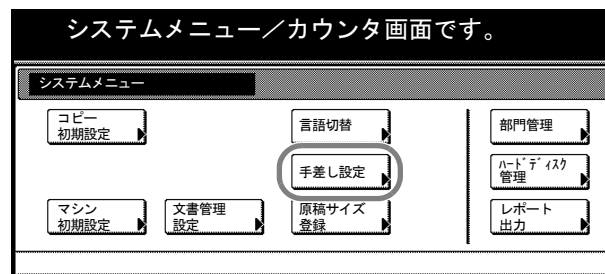
その他定形サイズ

特殊な定形サイズを設定できます。

- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。



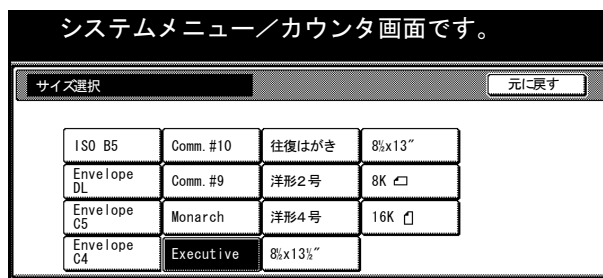
- 2 [手差し設定] キーを押してください。



- 3 [その他定形サイズ] キーを押し、[サイズ選択] キーを押してください。



- 4 用紙サイズを選択してください。



- 5 [閉じる] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。[基本] 画面に戻ります。

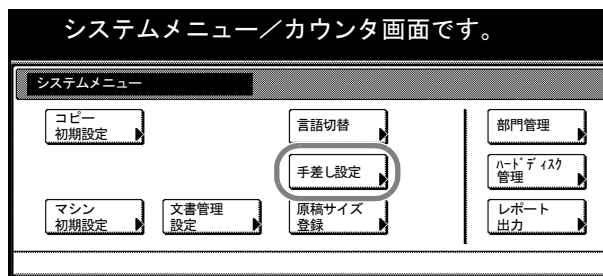
サイズ入力

任意の用紙サイズを設定できます。

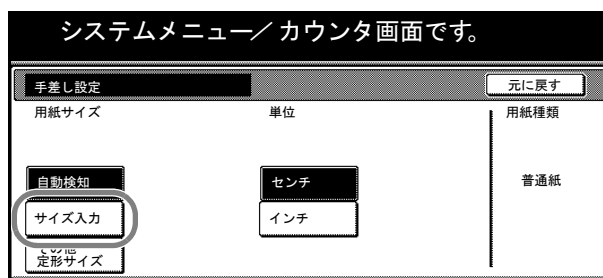
- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。



- 2 [手差し設定] キーを押してください。

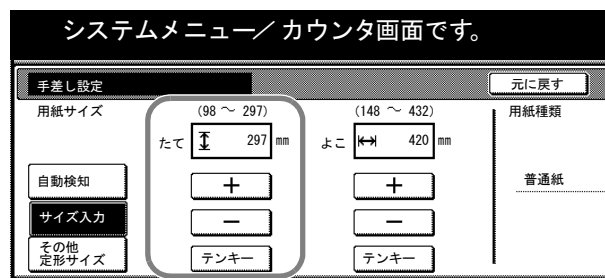


- 3 [サイズ入力] キーを押してください。



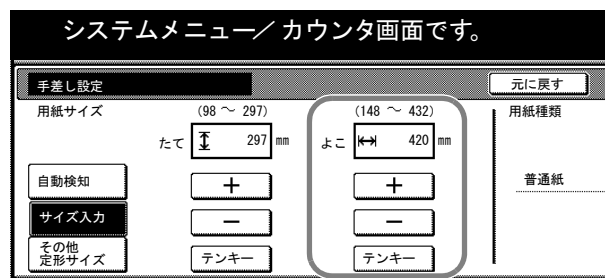
- 4 [＋] または [－] キーを押して、縦のサイズを設定してください。98 ～ 297 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。



- 5 [＋] または [－] キーを押して、横のサイズを設定してください。148 ～ 432 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。



- 6 [閉じる] キーを押してください。[基本] 画面に戻ります。

手差し用紙種類の設定

手差しを使用する場合は、用紙の種類を設定できます。

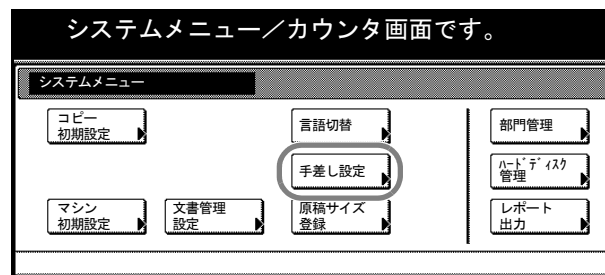
設定できる用紙の種類は次のとおりです。

普通紙、OHP フィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、上質紙、カスタム 1 ～ 8

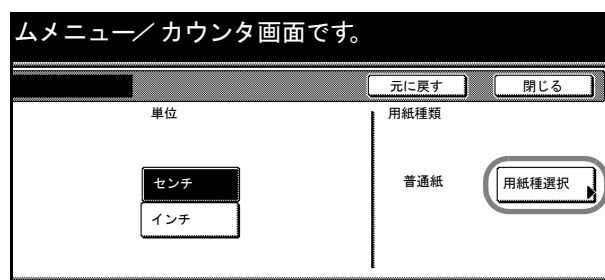
- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。



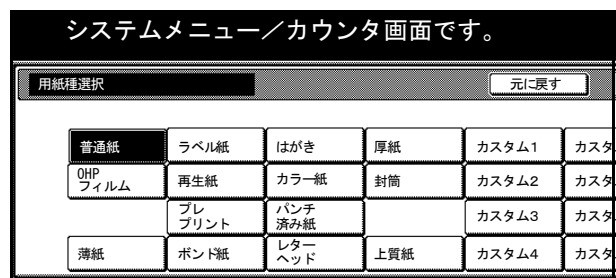
- 2 [手差し設定] キーを押してください。



- 3 [用紙種選択] キーを押してください。



- 4 用紙種類を選択してください。



- 5 [閉じる] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。[基本] 画面に戻ります。

原稿のセット

原稿送り装置への原稿のセット

複数のシート原稿を、自動的に1枚ずつ読み込む装置です。両面原稿の両面を自動的に読み込むこともできます。

原稿送り装置にセットできる原稿は次のとおりです。

項目	仕様
厚さ	45 g/m ² ~ 160 g/m ²
サイズ	最大 A3 ~ 最小 A5R
セット枚数	普通紙 (80 g/m ²)、カラーペーパー、再生紙：200 枚 (原稿サイズ混載コピー時：30 枚) 第二原図、更紙、アート紙：1 枚 上質紙 (50 g/m ²)：200 枚 上質紙 (110 g/m ²)：145 枚

原稿送り装置の使用上の注意

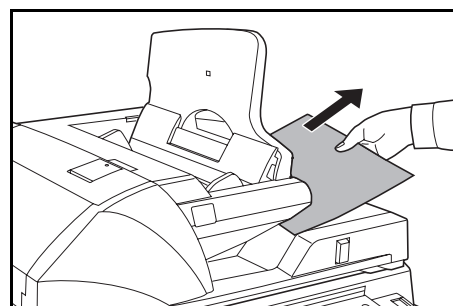
次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

- OHP フィルムなどの透明フィルム
- カーボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- クリップやステープルで止めてある原稿 (原稿として使用するときは、クリップやステープルを取り外して、しわ・折れをなおしてからセットしてください。原稿がつまる原因になります。)
- 切り抜きの原稿、表面やうら面のすべりが非常によい原稿
- 修正液が乾いていない状態の原稿
- 折り目のついた原稿 (原稿として使用するときは、折れをなおしてからセットしてください。原稿がつまる原因になります。)

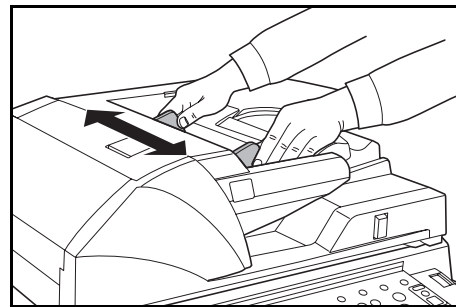
原稿のセット方法

次の手順で原稿送り装置に原稿をセットしてください。

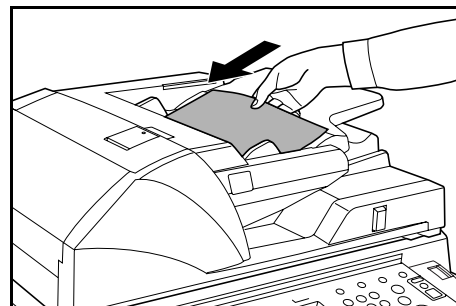
注意：原稿をセットする前に、原稿排紙テーブルに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排紙テーブルに原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。



- 1 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。

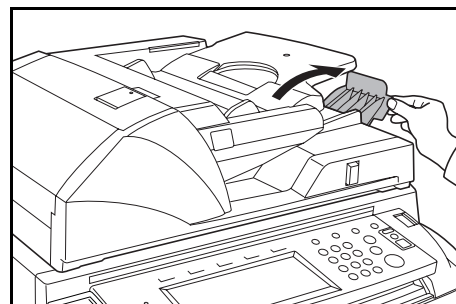


- 2 原稿をセットします。コピーする面を上向きにして（両面原稿の場合は表面を上にして）、原稿の先端を確実に原稿送り装置内の奥まで差し込んでください。

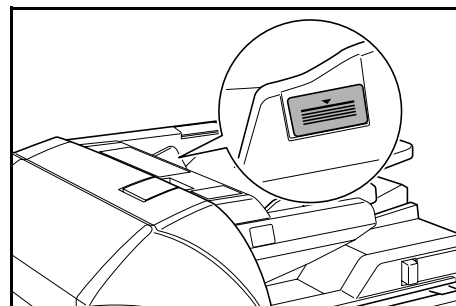


注意：原稿挿入ガイドが原稿にしっかりと当たっているか確認し、隙間があるときは原稿挿入ガイドをセットしなおしてください。原稿がつまる原因となります。

B4、A3 の原稿をセットするときは、排紙ガイドをのばしてください。



原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。この上限表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。



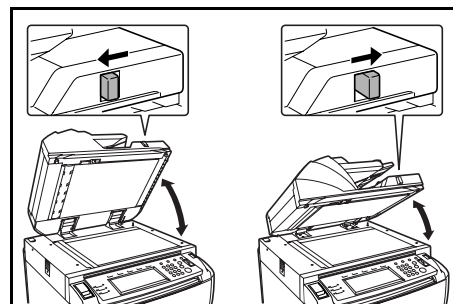
コンタクトガラスへの原稿のセット

本や雑誌など、原稿送り装置にセットできない原稿の場合は、原稿送り装置本体を開けてコンタクトガラスの上に原稿をセットしてください。

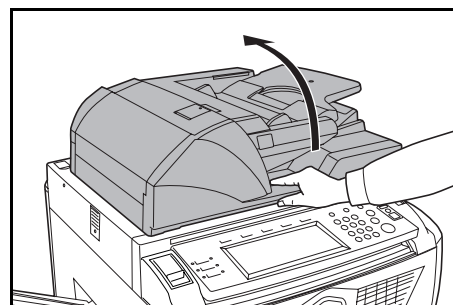
原稿送り装置角度調整レバーを操作すると、原稿送り装置の開く角度を変更できます。レバーを左にすると 60 度、右にすると 30 度まで開きます。

注意：原稿送り装置を開ける前には、原稿トレイや原稿排紙テーブルに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。

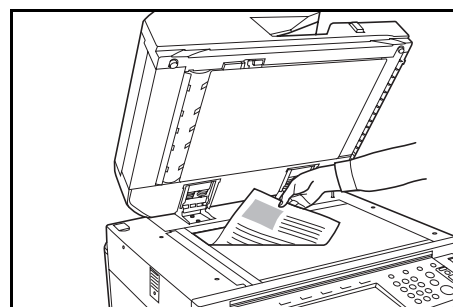
原稿送り装置角度調整レバーは、原稿送り装置を開けた状態では操作できません。原稿送り装置をいったん閉めてから操作してください。



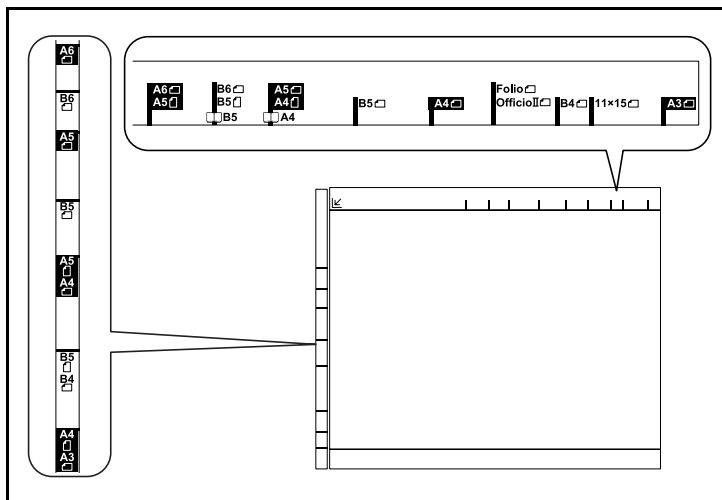
- 1 原稿送り装置を開けてください。



- 2 原稿をセットします。コピーする面を下にし、左奥を基準に、原稿サイズ指示板に確実に合わせてください。



(原稿サイズ指示板)



- 3 原稿送り装置を閉めてください。4 cm 以上の厚さのある原稿は原稿送り装置を開けたままコピーしてください。

注意：このとき原稿送り装置をコンタクトガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

見開き原稿をコピーすると、周辺や中枠部分に影が写ることがあります。



注意

原稿送り装置を開いた状態のままで放置しないでください。けがの原因となることがあります。

3 基本的な操作

この章では次の操作について説明します。

- 基本的なコピーのしかた ...3-2 ページ
- 画質の選択 ...3-4 ページ
- 濃度調整 ...3-5 ページ
- 縮小 / 拡大コピー ...3-6 ページ
- 両面コピー ...3-11 ページ
- 分割コピー ...3-14 ページ
- ソートコピー ...3-16 ページ
- 割り込みコピー ...3-17 ページ
- 予約コピー ...3-18 ページ
- 低電力モード ...3-19 ページ
- スリープモード ...3-20 ページ

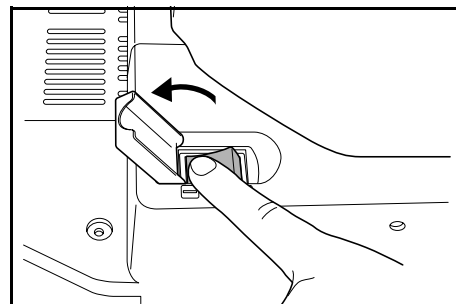
その他の機能については**使用説明書 応用編**を参照してください。

基本的なコピーのしかた

基本的なコピーのしかたについて説明します。

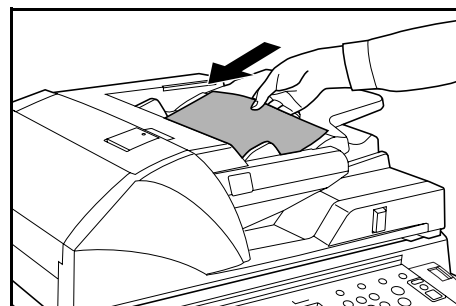
- 1 メインスイッチカバーを開いて、メインスイッチを ON (I) にしてください。

ウォームアップが完了すると、[スタート] キーのスタート表示が緑色に点灯します。



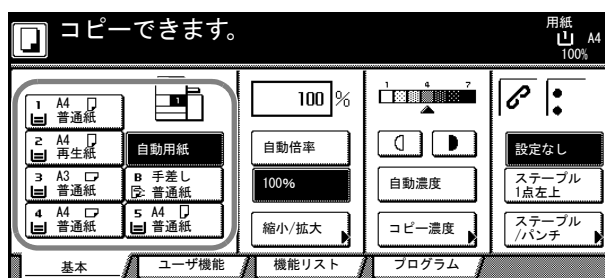
- 2 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットしてください。

参考：原稿をセットする方法は、2-17 ページの原稿のセットを参照してください。



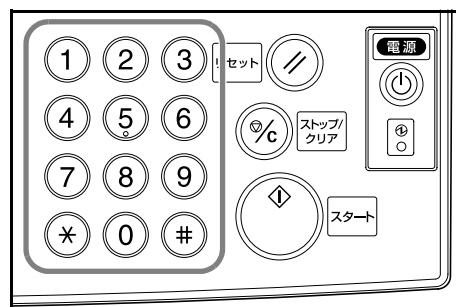
- 3 「自動用紙」が選択されていることを確認してください。原稿と同じサイズ of 用紙が自動的に選択されます。用紙サイズを変更する場合は、用紙サイズを押して給紙元を選択してください。

参考：自動用紙選択機能を使用せずに、手動で用紙を選択する場合は、使用説明書 応用編の3章、用紙選択を参照してください。

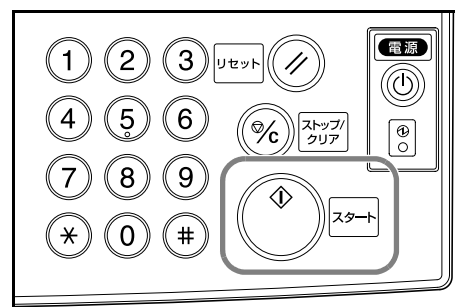


- 4 テンキーでコピー枚数を設定してください。9999 枚までセットできます。

参考：設定できるコピー枚数を制限することができます。詳細は使用説明書 応用編の3章を参照してください。

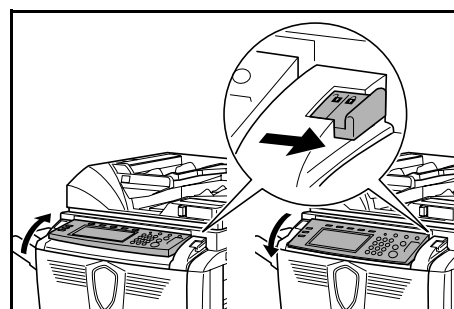


- 5 「スタート」キーを押してください。



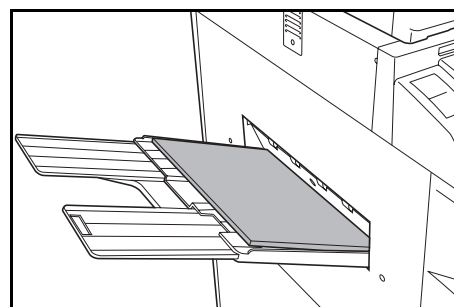
参考：操作パネルロックレバーを解除すると、操作パネルの角度を図のように変更できます。変更後は必ず操作パネルロックレバーを元に戻してください。

操作パネルの角度を変える場合、操作パネルの下に手を入れないでください。けがの原因となることがあります。



- 6 仕上がったコピーを排紙トレイから取り出してください。

排紙トレイの収納枚数は普通紙（80 g/m²）で250枚までです。ただし、使用用紙の状態により収納枚数は変わります。

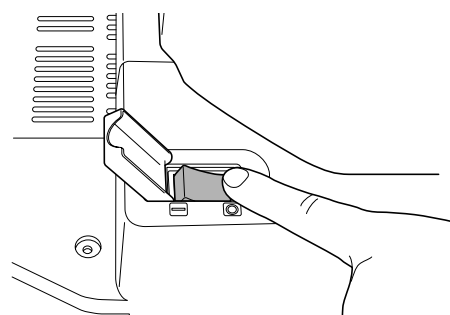


複写機を使用していないときは



注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



メインスイッチを切る場合

操作パネル上の「電源」キーを押して、「電源」表示が消灯したことを確認してから、メインスイッチを切ってください。「電源」キーを切らずにメインスイッチを切った場合、本製品搭載のHDD（ハードディスク）が破損する可能性があります。



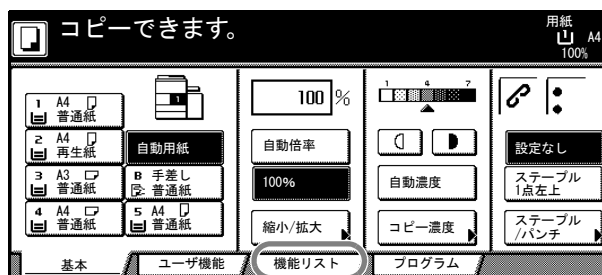
画質の選択

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。

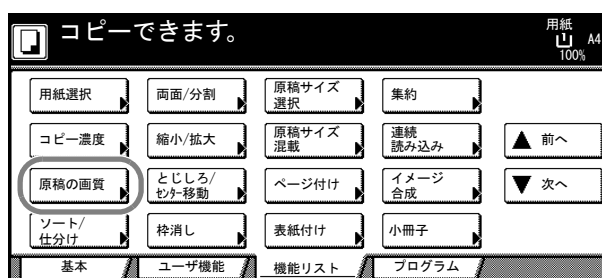
画質	説明
文字+写真	文字と写真が混在する原稿をコピーする時に選択します。
写真	写真などの原稿をコピーする時に選択します。
文字	書類など文字が多い原稿をコピーする時に選択します。

- 1 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットしてください。

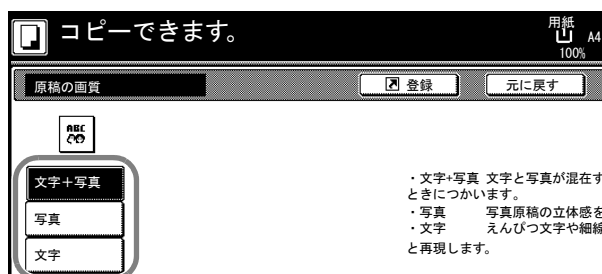
- 2 「機能リスト」キーを押してください。



- 3 「原稿の画質」キーを押してください。

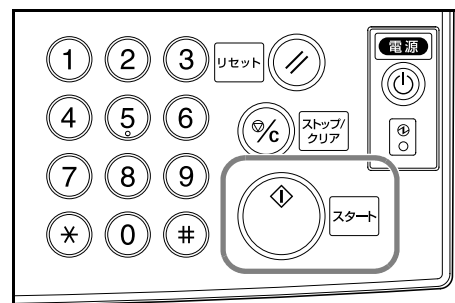


- 4 画質を選択してください。



- 5 「スタート」キーを押してください。コピーが開始されます。

参考：それぞれの画質で濃度調整をすることができます。詳細は使用説明書 応用編の3章を参照してください。



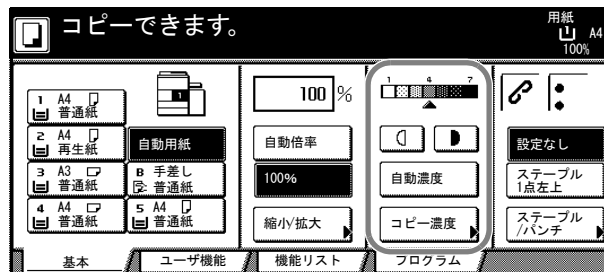
濃度調整

濃度調整は自動または手動で行うことができます。工場出荷時は手動濃度モードに設定されています。手動濃度モードの場合は次のように設定します。

- 1 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットしてください。

- 2 濃度調整キー（/）を押してください。

自動濃度モードを使用する場合は
[自動濃度] キーを押してください。
原稿の濃度を検知して、最適にコピー濃度をセットします。自動濃度モードから手動濃度モードに戻す場合は、濃度調整キー（/）を押してください。



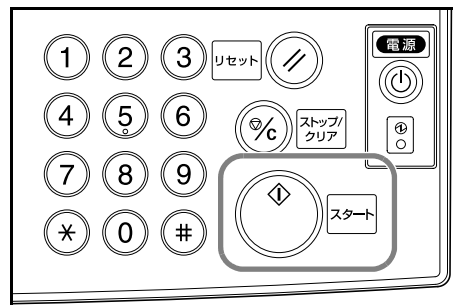
- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

参考：自動濃度モードで設定される濃度を薄くしたり、濃くすることができます。詳細は**使用説明書 応用編の3章**を参照してください。

初期設定モードを自動濃度モードに設定することができます。詳細は**使用説明書 応用編の3章**を参照してください。

コピー濃度を7段階か13段階に変更できます。詳細は**使用説明書 応用編の3章**を参照してください。

[コピー濃度] キーを押すと、「コピー濃度」画面が表示されます。この画面でも上記と同様な濃度調整ができます。



縮小 / 拡大コピー

倍率を変更して、縮小 / 拡大コピーします。

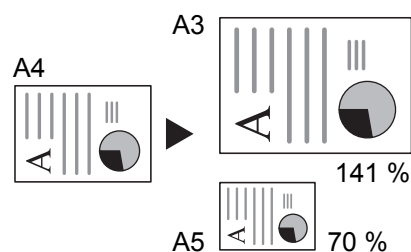
縮小 / 拡大コピーには次のモードがあります。

- ・ **自動倍率**—原稿を、選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大コピーできます。
- ・ **ズームコピー**—25 ～ 400 %（原稿送り装置使用時は 25 ～ 200 %）の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。
- ・ **固定変倍**—あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーができます。
- ・ **たてよこ独立変倍**—たて、よこ別々に倍率を変更することができます。倍率は 25 ～ 400 %（原稿送り装置使用時は 25 ～ 200 %）の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。

自動倍率

原稿を、選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大コピーします。

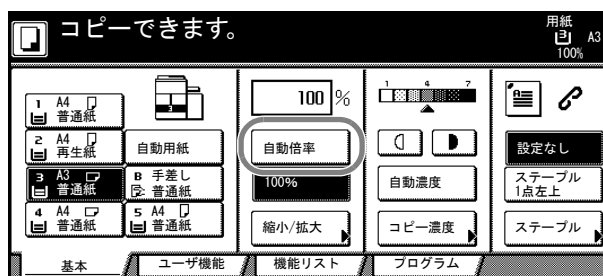
自動倍率の操作手順は次のとおりです。



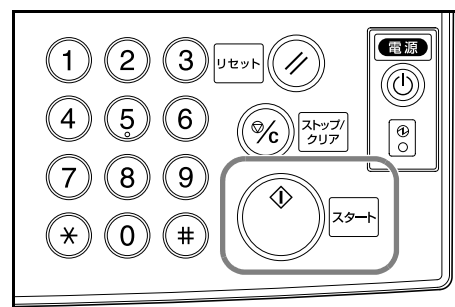
- 1 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットし、用紙サイズを押してください。



- 2 「自動倍率」キーを押してください。
コピー倍率が表示されます。



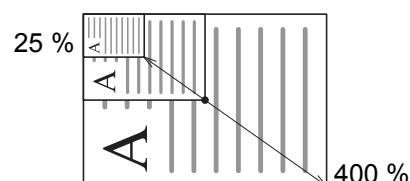
- 3 [スタート] キーを押してください。自動的に用紙サイズに縮小または拡大されてコピーします。



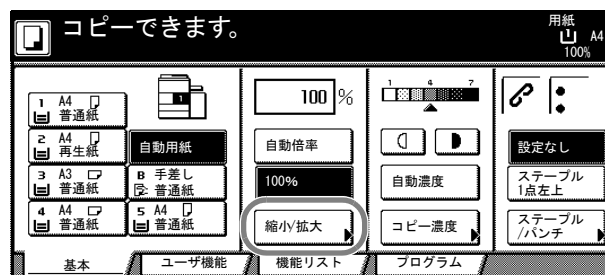
ズームコピー

25 ~ 400 % (原稿送り装置使用時は 25 ~ 200 %) の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。

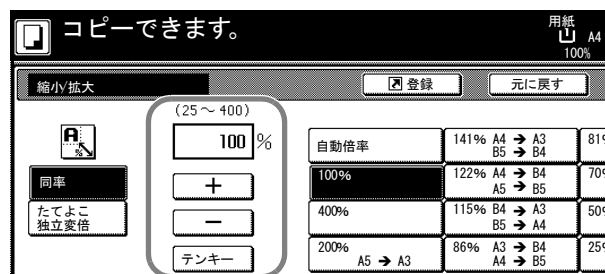
ズームコピーの操作手順は次のとおりです。



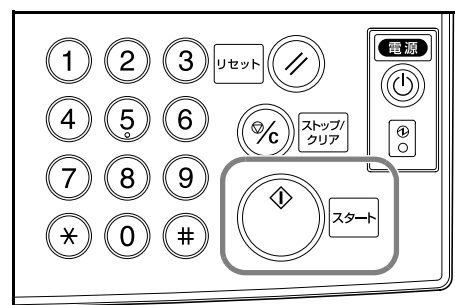
- 1 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットし、[縮小 / 拡大] キーを押してください。



- 2 [+] または [-] キーで、表示されている倍率を変更してください。
[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。



- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。



固定変倍

あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーします。

- 200 % (A5 → A3)
- 141 % (A4 → A3、B5 → B4)
- 122 % (A4 → B4、A5 → B5)
- 115 % (B4 → A3、B5 → A4)
- 86 % (A3 → B4、A4 → B5)
- 81 % (B4 → A4、B5 → A5)
- 70 % (A3 → A4、B4 → B5)

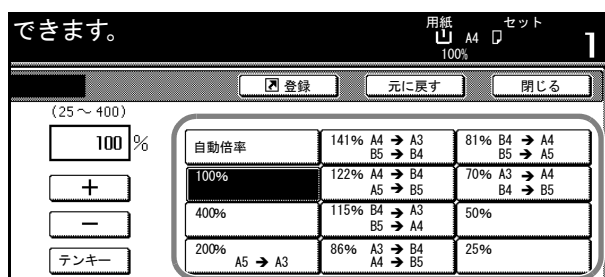
固定変倍の操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットし、[縮小 / 拡大] キーを押してください。

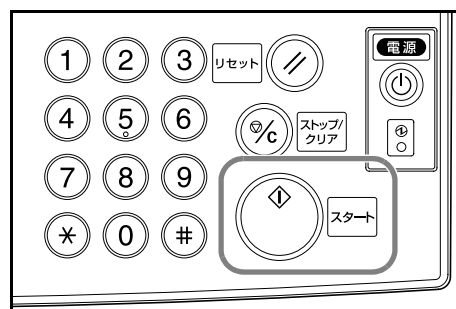


- 2 倍率を選択してください。

参考：選択した倍率から [＋] または [－] キーを押して、1 % 刻みで倍率を変更することができます。



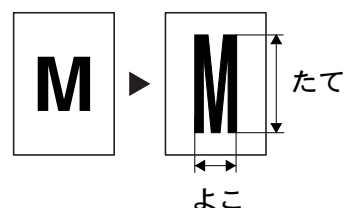
- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。



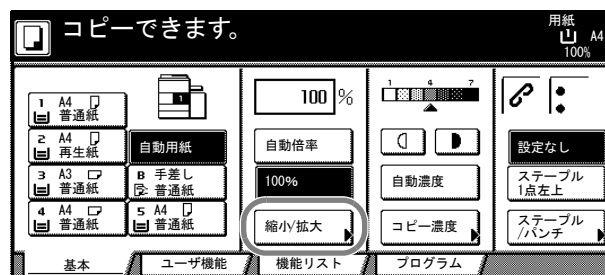
たてよこ独立変倍

たて、よこ別々に倍率を変更することができます。倍率は25～400%（原稿送り装置使用時は25～200%）の範囲で、1%刻みで倍率を変えることができます。

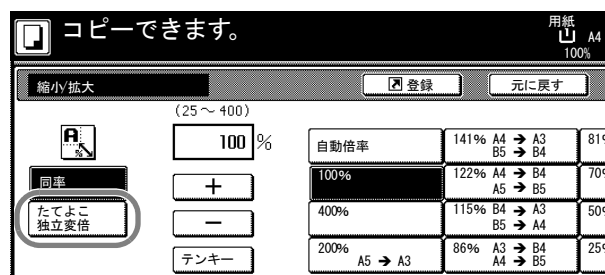
たてよこ独立変倍の操作手順は次のとおりです。



- 1 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットし、[縮小/拡大]キーを押してください。

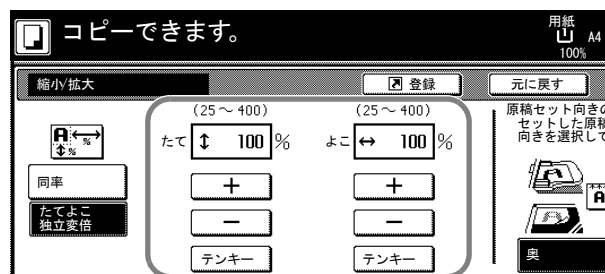


- 2 [たてよこ独立変倍] キーを押してください。



- 3 [+] または [-] キーで、表示されている「たて」と「よこ」の倍率を変更してください。

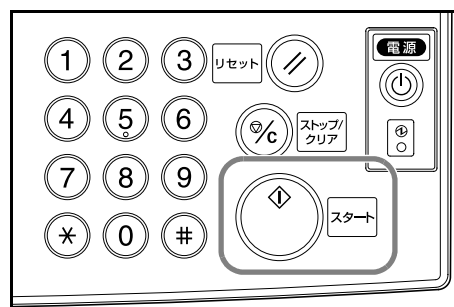
[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。



- 4 原稿セット向きを設定を行ってください。

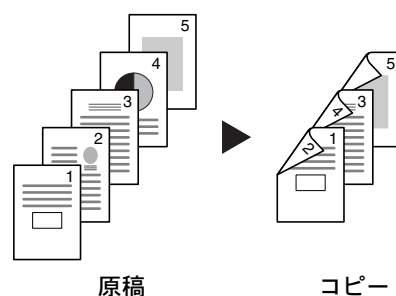


- 5 【スタート】キーを押してください。コピーが開始されます。



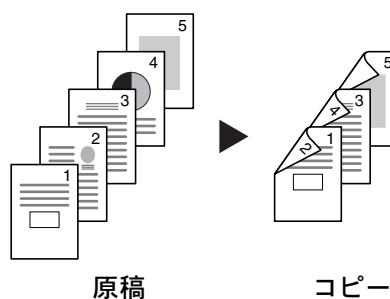
両面コピー

見開き原稿や両面原稿から両面コピーができます。



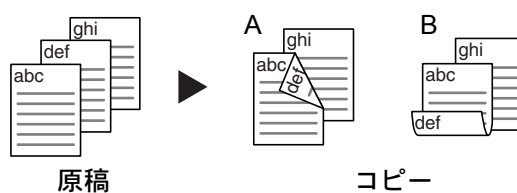
片面→両面

片面原稿を裏表に両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。



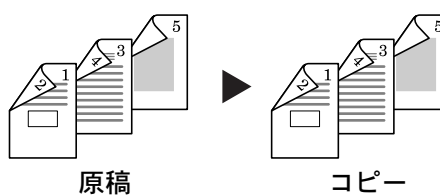
同じ方法を次の2とおりから設定できます。

- 原稿左/右と同じ→仕上がり左/右と同じ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。...A
- 原稿左/右と同じ→仕上がり上と同じ：うら面のコピーをおもて面に対して180度回転させてコピーします。仕上がったコピーを上で綴じると、各見開きのページが同じ方向になります。...B



両面→両面

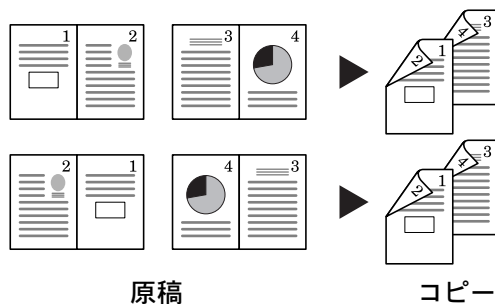
両面の原稿を両面コピーします。



参考：両面→両面に使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、 11×17 "、 $8 \frac{1}{2} \times 14$ "、 $11 \times 8 \frac{1}{2}$ "、 $8 \frac{1}{2} \times 11$ "、 $5 \frac{1}{2} \times 8 \frac{1}{2}$ "、 $8 \frac{1}{2} \times 13$ "、 $8 \frac{1}{2} \times 13 \frac{1}{2}$ " です。

見開き→両面

雑誌や本などの見開き 2 ページを、用紙の両面にコピーします。



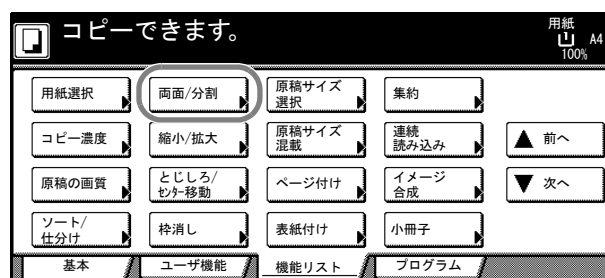
参考：見開き→両面に使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、 11×17 "、 $8 \frac{1}{2} \times 11$ "、8K に限られます。

両面コピーの操作手順は次のとおりです。

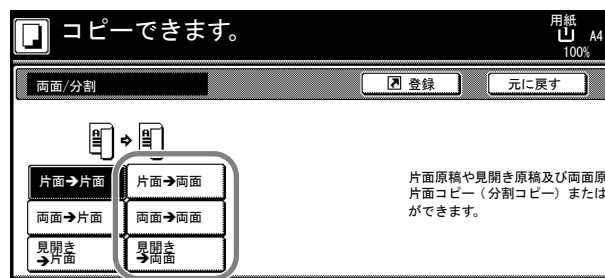
- 1 [機能リスト] キーを押してください。



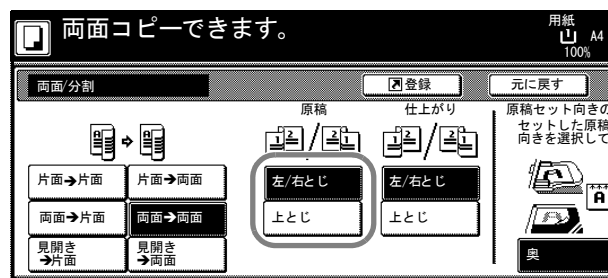
- 2 [両面 / 分割] キーを押してください。



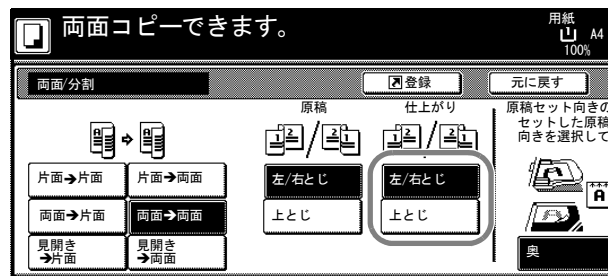
- 3 両面コピーのモードを選択してください。



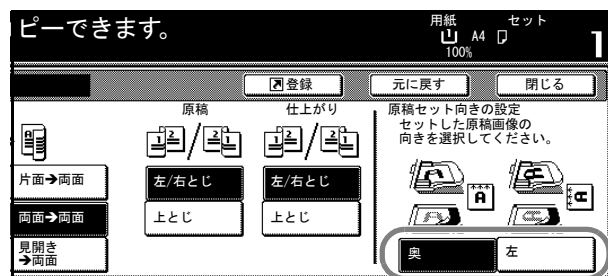
- 4 「両面→両面」または「見開き→両面」を選択したときは、原稿のと同じ方向を選択してください。



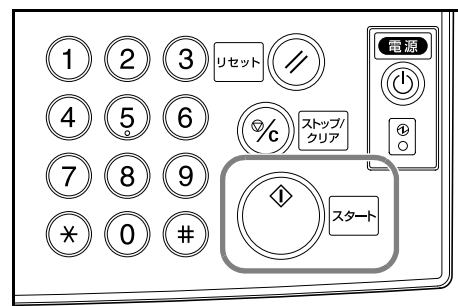
- 5 仕上がりの同じ方向を選択してください。



- 6 「片面→両面」または「両面→両面」を選択したときは、原稿セット向きを設定を行ってください。



- 7 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。
- 原稿をコンタクトガラスにセットしたときは、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。
- 次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。

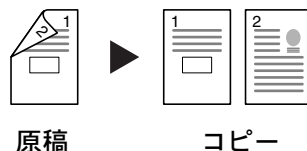


分割コピー

分割コピーは両面原稿や本などの見開き原稿を、次のように 1 ページずつコピーします。

両面→片面

両面原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。

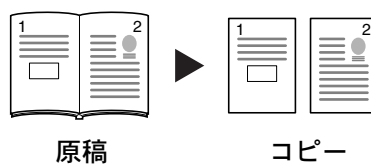


とじ方法を次の 2 とおりから設定できます。

- ・ 左 / 右とじ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- ・ 上とじ：うら面のコピーをおもて面に対して 180 度回転させてコピーします。

見開き→片面

見開き 2 ページの原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



とじ方法を次の 2 とおりから設定できます。

- ・ 左とじ：見開き原稿の左ページ、次に右ページの順でコピーします。
- ・ 右とじ：見開き原稿の右ページ、次に左ページの順でコピーします。

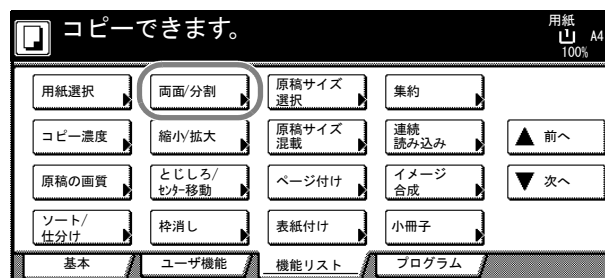
参考：分割コピーに使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8K、また用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

分割コピーの操作手順は次のとおりです。

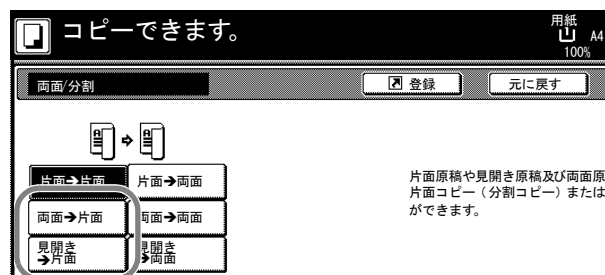
- 1 [機能リスト] キーを押してください。



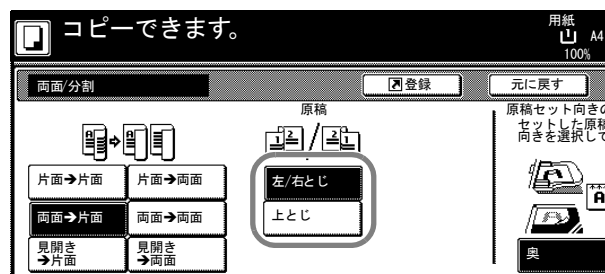
- 2 「両面 / 分割」 キーを押してください。



- 3 分割コピーのモードを選択してください。



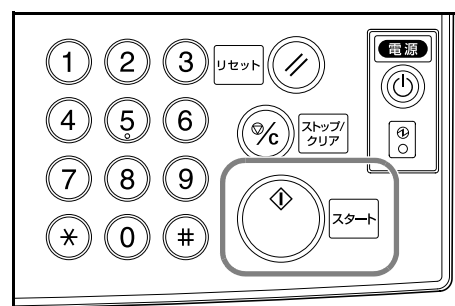
- 4 原稿のとり方向を選択してください。



- 5 「両面→片面」を選択したときは、原稿セット向きの設定を行ってください。



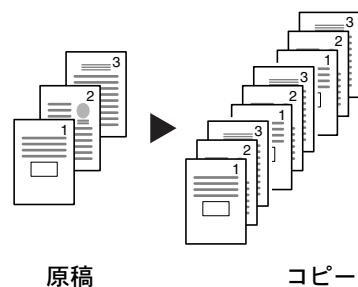
- 6 原稿送り装置またはコンタクトガラスに原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。
- 原稿をコンタクトガラスにセットしたときは、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。
- 次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。



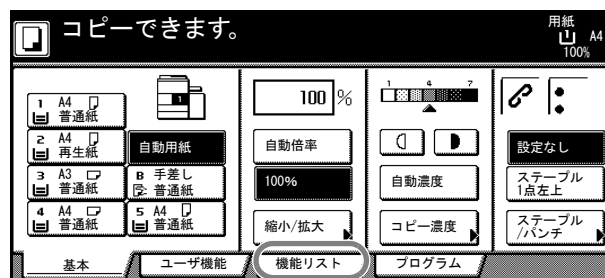
ソートコピー

原稿送り装置を使用して、複数枚の原稿から1部ずつページ順に並び替えたコピーを、必要部数作成できます。

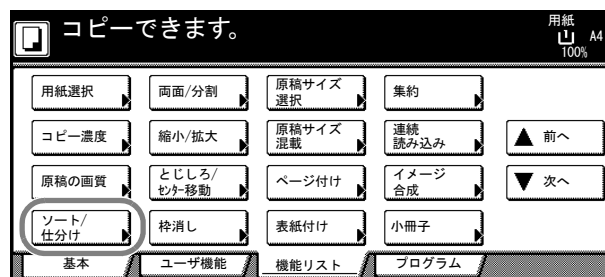
ソートコピーの操作手順は次のとおりです。



- 1 【機能リスト】 キーを押してください。



- 2 【ソート/仕分け】 キーを押してください。

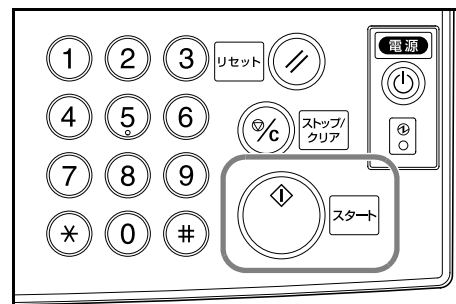


- 3 【ソートする】 キーを押してください。



- 4 テンキーを使って、コピー部数を設定してください。

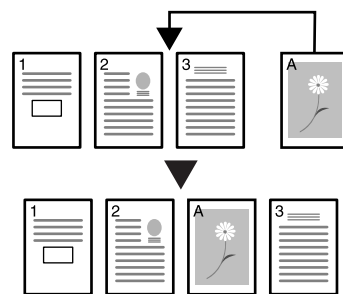
- 5 原稿送り装置に原稿をセットし、【スタート】キーを押してください。コピーが開始されます。
コピーされた用紙は1部ずつ、ページ順に並んだ状態で排紙トレイに排出されます。



割り込みコピー

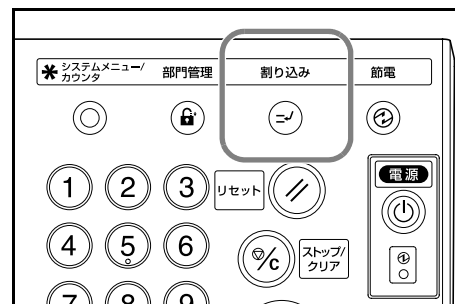
コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーしたいときは、割り込みコピーが便利です。割り込んだコピーの後に、中断されたコピーを同じ設定で再開することができます。

割り込みコピーの操作手順は次のとおりです。



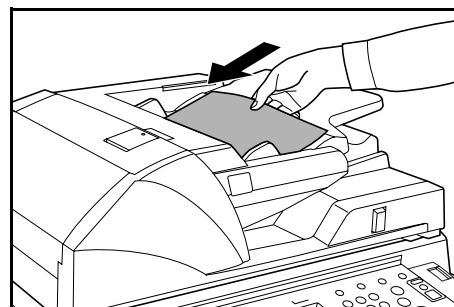
- 1 【割り込み】キーを押してください。

「割り込みコピーできます。」が表示されます。

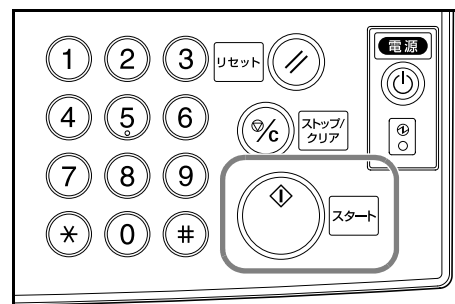


- 2 コピー中の原稿をいったん取り出してください。

- 3 割り込みコピーする原稿を、原稿送り装置またはコンタクトガラスにセットしてください。



- 4 割り込みコピーするコピー機能を設定して、【スタート】キーを押してください。



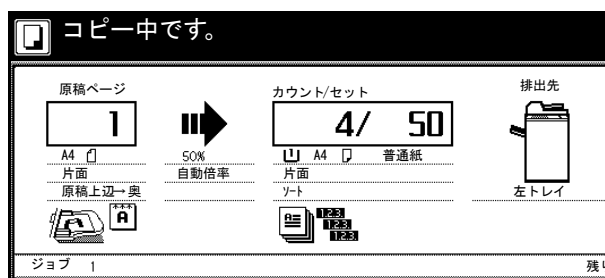
- 5 割り込みコピーが終了したら原稿を取り除き、【割り込み】キーを押してください。
割り込みコピー前の設定に戻ります。

- 6 元の原稿を原稿送り装置またはコンタクトガラスにセットし、【スタート】キーを押してコピーを再開してください。

予約コピー

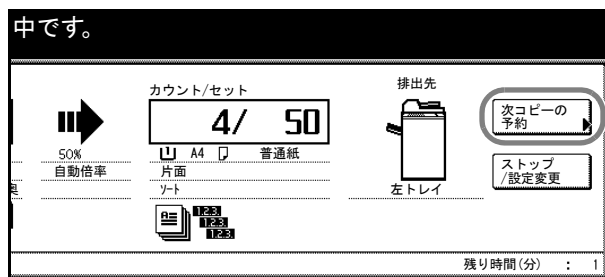
コピー出力中にコピーの設定と原稿の読み込みができます。現在のコピーが終了すると、予約したコピーの出力を開始します。

予約コピーの操作手順は次のとおりです。



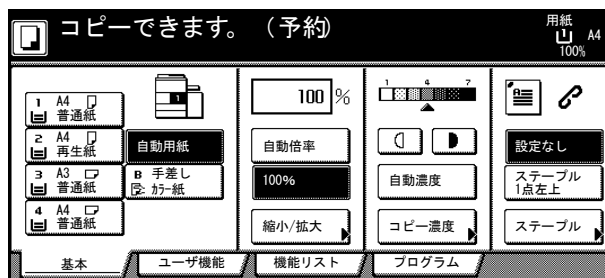
- 1 [次コピーの予約] キーを押してください。

「コピーできます。(予約)」が表示されます。



- 2 予約コピーする原稿を、原稿送り装置またはコンタクトガラスにセットしてください。

- 3 予約コピーに使用する機能を設定してください。

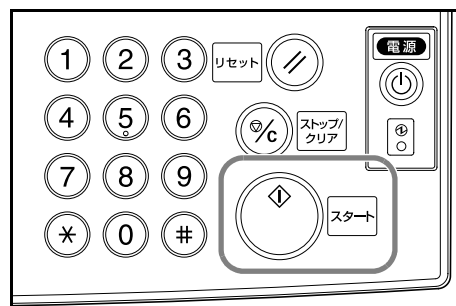


- 4 [スタート] キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。

原稿の読み込みをすべて完了すると手順1の画面に戻ります。

予約コピーを終了するときは[予約コピー終了]キーを押してください。

コピーが終了し、出力が可能になると、予約したコピーの出力を開始します。



低電力モード

【節電】キーを押すと、本機は低電力モードになります。

操作パネル上の**節電**表示、**電源**表示、主電源表示が点灯し、他は消灯します。

コピーを再開するときは、次のいずれかの操作を行ってください。コピー可能状態に復帰します。

- ・ 操作パネル上のいずれかのキーを押す。
- ・ 原稿送り装置に原稿をセットする。
- ・ 原稿送り装置を開ける。

コピー可能状態までの復帰時間は 30 秒です。



参考：オプションのプリンタ機能を使用している場合、低電力モード中に印刷データを受信すると自動的に復帰し、出力を開始します。

自動低電力モード

自動低電力モードは、一定時間操作がないと自動的に低電力モードに移行する機能です。工場出荷時は 15 分に設定されています。

参考：自動低電力モードが働くまでの時間を変更できます。詳細は**使用説明書 応用編の 3 章**を参照してください。

スリープモード

【電源】キーを押すと、本機はスリープモードになります。

操作パネル上の主電源表示だけが点灯し、他は消灯します。

消費する電力は低電力モードよりさらに少なくなります。

コピーを再開するときは、もう一度【電源】キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は、60 枚機は 45 秒、80 枚機は 120 秒です。



参考：オプションのプリンタ機能を使用している場合、スリープモード中に印刷データを受信すると自動的に復帰し、出力を開始します。

オートスリープモード

オートスリープモードは、一定時間操作がないと自動的にスリープモードに移行する機能です。工場出荷時は 90 分に設定されています。

参考：オートスリープモードが働くまでの時間を変更できます。詳細は**使用説明書 応用編の 3 章**を参照してください。

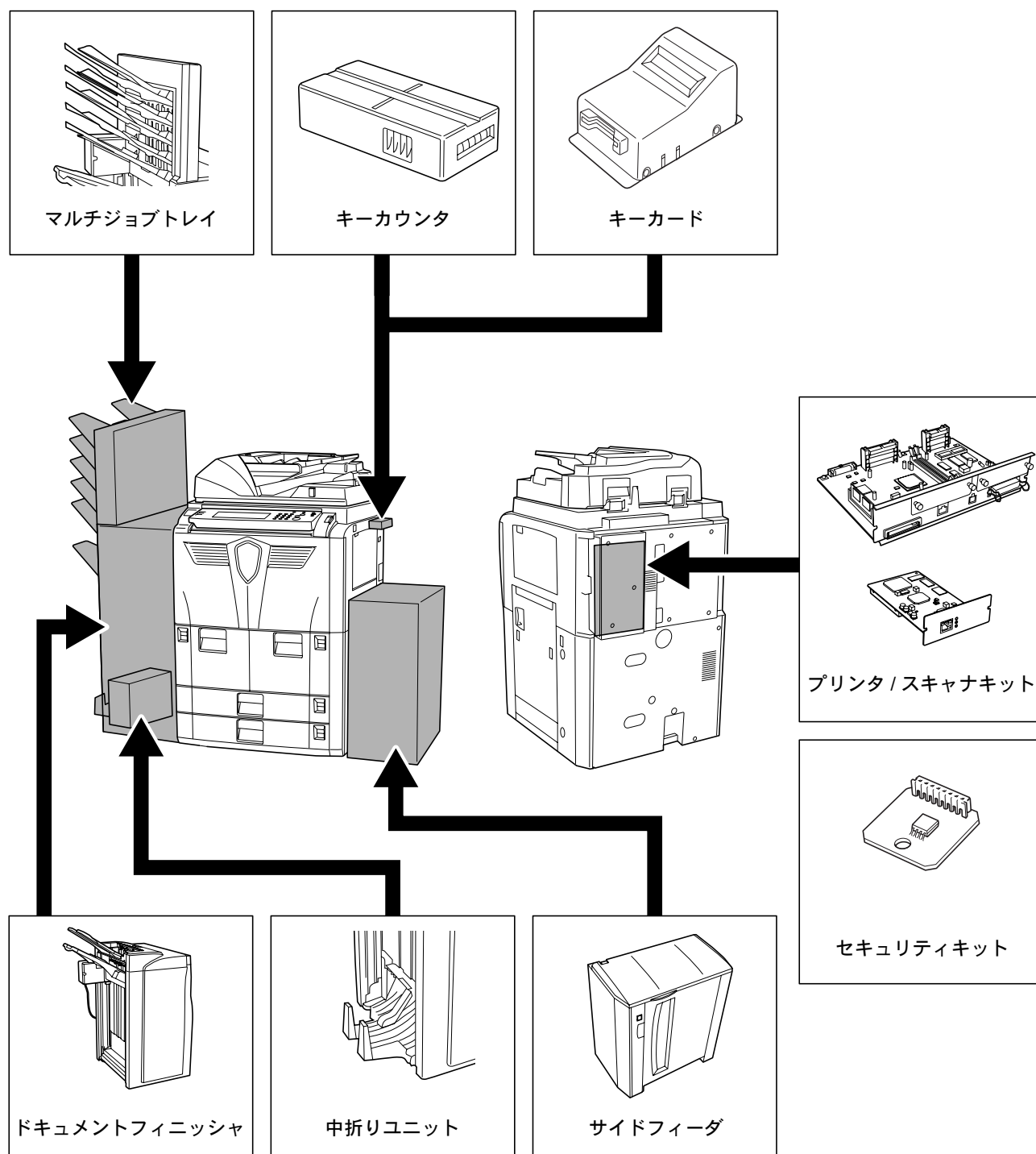
4 オプションについて

この章では、本製品で利用できる便利なオプション機器を紹介します。

- オプション構成 ...4-2
- サイドフィーダ ...4-3
- ドキュメントフィニッシャ ...4-3
- キーカウンタ ...4-4
- キーカード ...4-4
- プリンタ / スキャナキット ...4-5
- セキュリティキット ...4-5

オプション構成

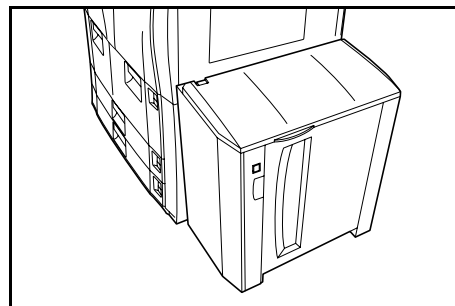
本機では、次のオプションが使用できます。



サイドフィーダ

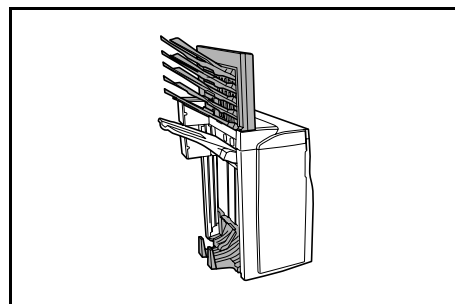
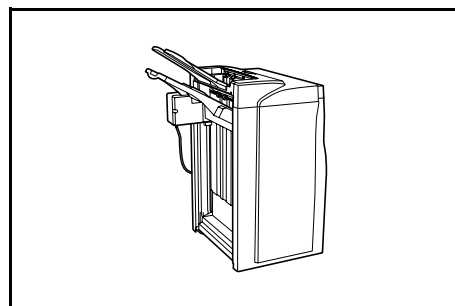
本体のカセットに加えて、A4 または B5 の用紙を 4,000 枚収納できるサイドフィーダを増設することができます。

用紙の補給方法は、2-7 ページの**サイドフィーダ（オプション）** への**補給**を参照してください。



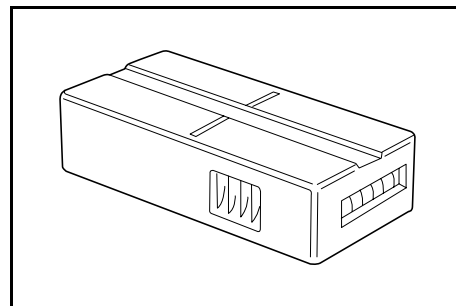
ドキュメントフィニッシャ

大量のコピーを収納し、かつ多部数のコピーを 1 部ずつシフトして仕分けすることができる装置です。仕分けしたコピーにステープルやパンチ穴（オプション）を開けることもできます。詳細はドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。さらにオプションとして、マルチジョブトレイと中折りユニットがあります。（下図）



キーカウンタ

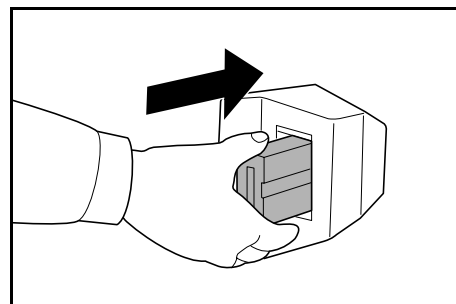
キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。会社内などで、各部署別のコピー使用量を集中管理する場合に役立ちます。



キーカウンタのセット方法

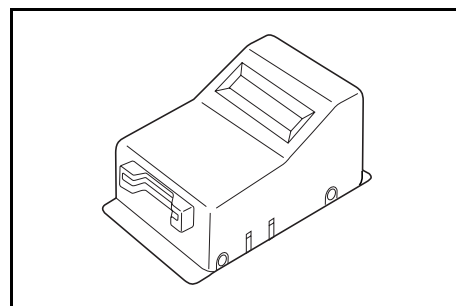
キーカウンタ差し込み口に、キーカウンタを確実にセットしてください。

参考：キーカウンタを使用する場合は、キーカウンタを本機にセットしない限り、コピーがとれませんのでご注意ください。キーカウンタが確実に挿入されていないときは、「**キーカウンタをセットしてください。**」が表示されます。



キーカード

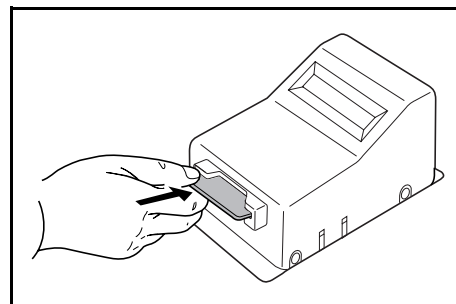
キーカードを使用すると、専用の部門カードを使ってコピーの使用量を確認することができます。会社内などで、各部署別のコピー使用量を集中管理する場合に役立ちます。



キーカードのセット方法

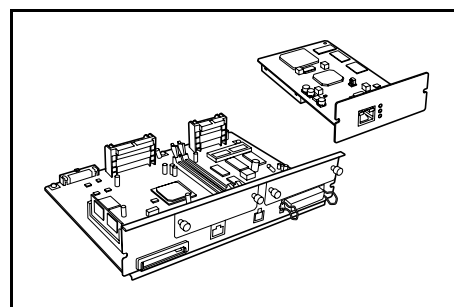
専用の部門カードを本体のカード挿入口にしっかり奥まで挿入してください。

参考：キーカードを使用する場合は、部門カードを本体に挿入しない限りコピーがとれませんのでご注意ください。部門カードが確実に挿入されていないときは「**キーカードをセットしてください。**」が表示されます。



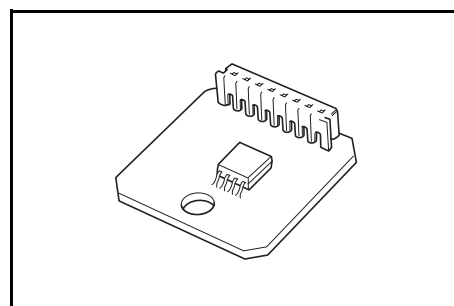
プリンタ / スキャナキット

プリンタ / スキャナキットを装着すると、本機をプリンタまたはネットワークスキャナとして使用することができます。詳細はプリンタ / スキャナキットの**使用説明書**を参照してください。またネットワークボードが標準装備されていますので、本機を複数のコンピュータからアクセスできるネットワークプリンタとしても使用できます。さらにオプションとしてネットワークボードとハードディスクがあります。



セキュリティキット

複写機は、読み込んだ原稿を一時的にハードディスク内にデータとして保存し、そのデータからコピーを行います。コピーが終わったデータは複写機からは認識されなくなりますが、ハードディスクの記録領域にはデータが存在し、別のデータがその記録領域に上書きされるまで残ります。そのため、特殊なツールで直接記録領域を読み取られると、データを復元されてしまうおそれがあります。



セキュリティキットは、これを防ぐために不要になったデータに上書き処理を行い、データの記録領域をすべて書き換えて、復元できないようにします。

5 日常のメンテナンス

この章では、本機の清掃とトナーコンテナの交換方法について説明します。

- 清掃 ...5-2
- トナーコンテナの交換 ...5-4

清掃

最適なコピーの品質を保つために、定期的に本機を清掃してください。



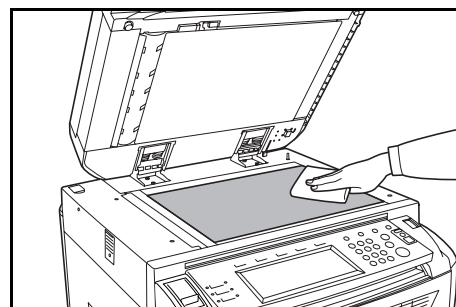
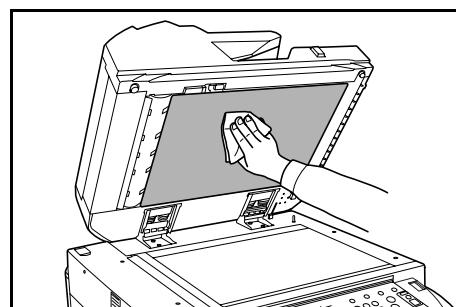
注意

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

原稿送り装置とコンタクトガラス

原稿送り装置を開けて、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿送り装置のうら面とコンタクトガラスを拭いてください。

注意：シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



スリットガラス

付属の清掃用布で上・下のスリットガラスを清掃してください。スリットガラスが汚れると、原稿送り装置を使用してコピーを行った際に、黒ずじが写ります。

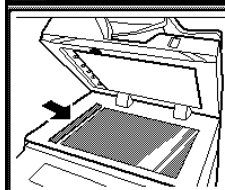
また、スリットガラスの清掃が必要になったら「スリットガラスを清掃してください。」が表示される場合があります。清掃後は【終了】キーを押してください。

コピーに白ずじが写るときは、原稿送り装置内部のローラが汚れています。

注意：スリットガラスは必ず乾拭きで清掃してください。水、シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。

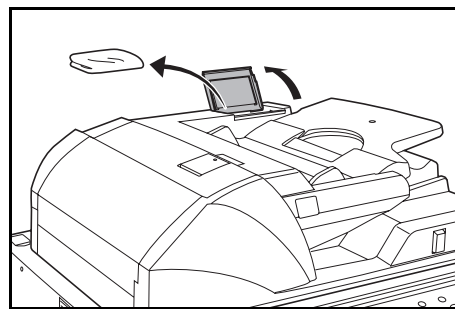


スリットガラスを清掃してください。

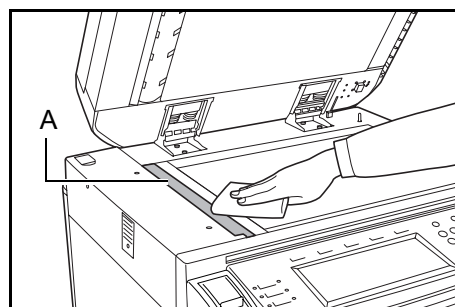


1. 原稿送り装置を開けてください。
2. 左側の細長いガラス（スリットガラス）と原稿送り装置下カバー内部のガラス及び白いローラーを、付属の布で清掃してください。
3. カバーを閉じ、原稿送り装置を閉じてください。
4. 終了キーを押してください。
ガラス及びローラーが汚れていると、コピーに筋が出る原因となります。

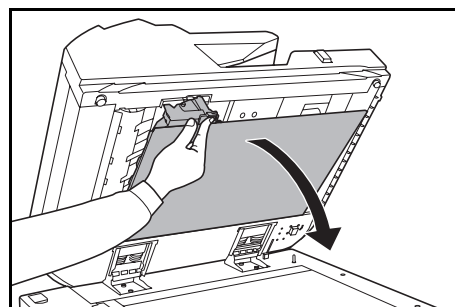
- 1 清掃用布ケースから清掃用布を取り出してください。



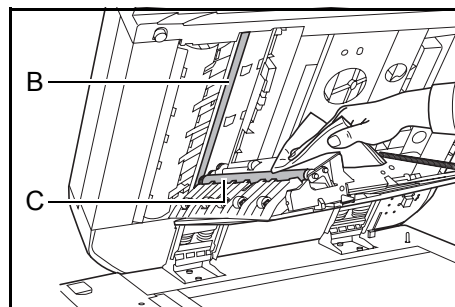
- 2 原稿送り装置を開けて、下スリットガラス A を拭いてください。



- 3 緑色のレバーを持って、原稿送り装置下カバーを開けてください。



- 4 上スリットガラス B と白いローラ C を拭いてください。

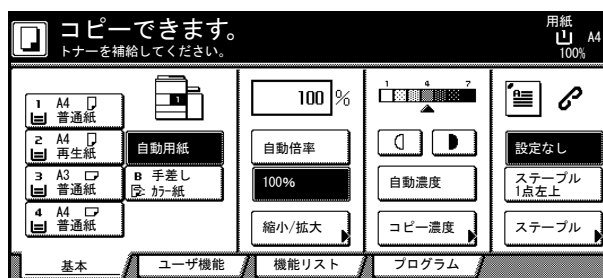


- 5 原稿送り装置下カバーを閉めてください。

トナーコンテナの交換

タッチパネルに「トナーを補給してください。」が表示されたときは、トナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されたら、すぐにトナーコンテナを交換してください。

トナーコンテナの交換は、メッセージが表示されたときのみ行ってください。



参考：[トナー補給] キーを押すと、タッチパネル上に交換手順の説明が表示されます。



注意

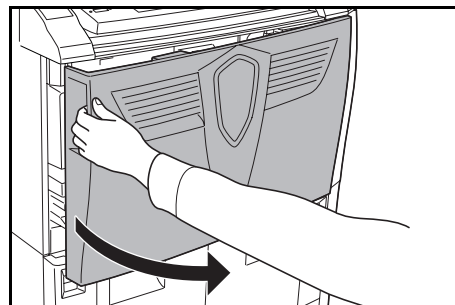
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



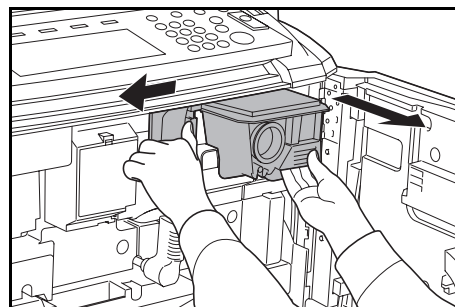
注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

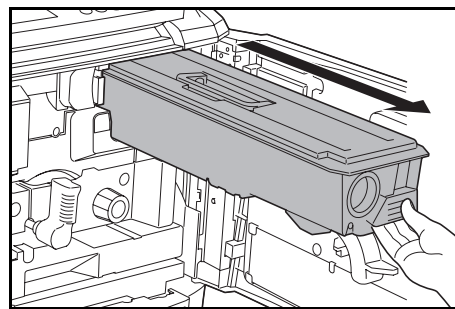
- 1 前カバーを開けてください。



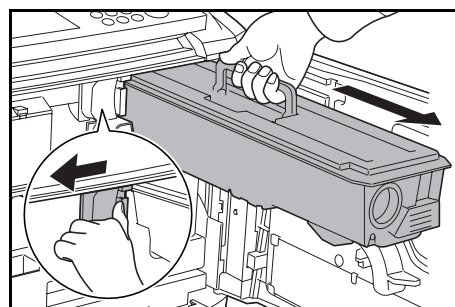
- 2 トナーコンテナ解除レバーを左に押して、古いトナーコンテナを少し引き出してください。



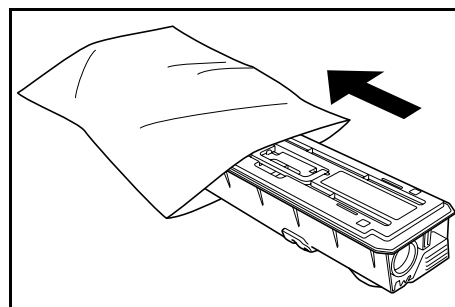
- 3 トナーコンテナ解除レバーを離して、トナーコンテナを引き出せるところまで引き出してください。



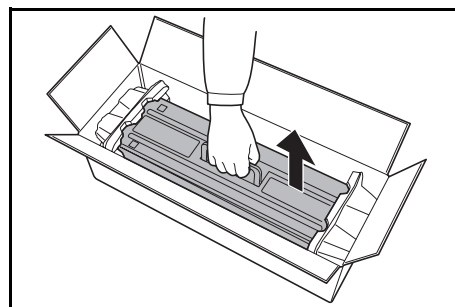
- 4 トナーコンテナの取手を持ち、再度トナーコンテナ解除レバーを左に押して、静かに取り出してください。



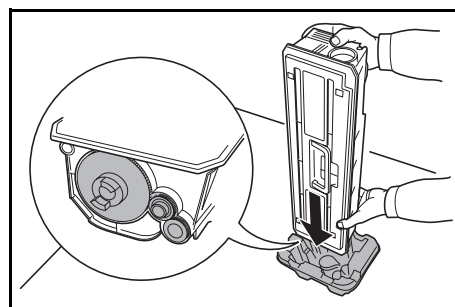
- 5 古いトナーコンテナを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



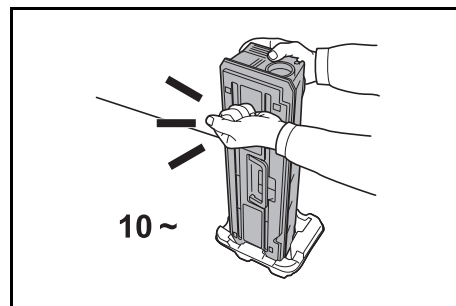
- 6 新しいトナーコンテナを箱から取り出してください。



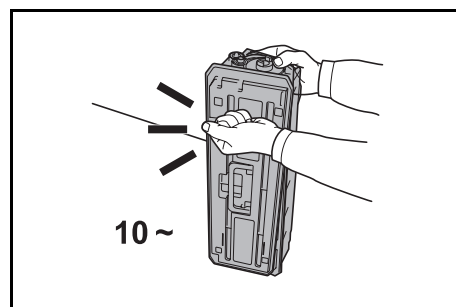
- 7 トナーコンテナを水平な台の上に立ててください。ギヤのある方を下にする場合は、緩衝材を敷いてください。



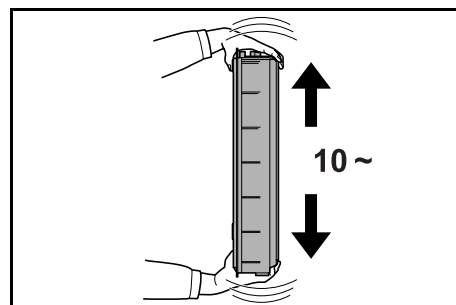
- 8 トナーコンテナの上部を 10 回以上叩いてください。



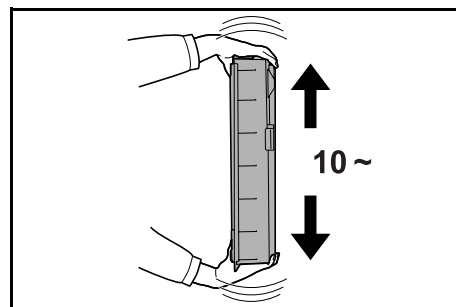
- 9 トナーコンテナの上下を逆にして、上部を 10 回以上叩いてください。



- 10 トナーコンテナを両手で持ち、縦に向けて上下に 10 回以上振ってください。

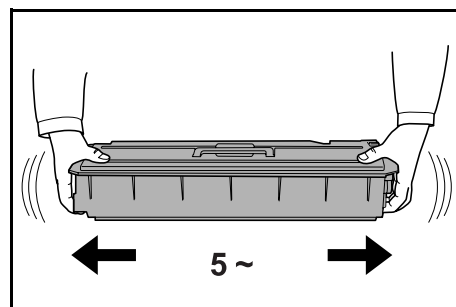


- 11 トナーコンテナの上下を逆にして、10 回以上振ってください。

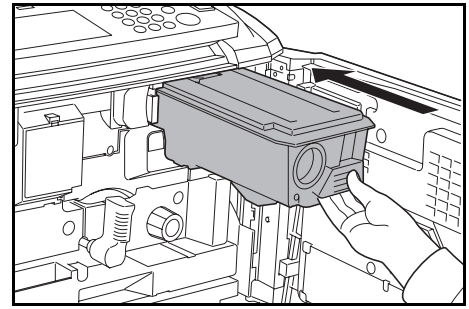


- 12 トナーコンテナを水平にして、左右に 5 回以上振ってください。

注意：トナーコンテナを十分に振らずに機械にセットした場合は、トナー補給不足によりエラーが発生することがあります。



- 13** 新しいトナーコンテナをセットしてください。
正しい位置にセットされるとカチッと音がして
ロックされます。



- 14** 前カバーを閉めてください。

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

6 困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

- トラブルが発生した場合 ...6-2
- こんな表示が出たら ...6-4
- 紙づまりが発生したら ...6-8

トラブルが発生した場合

次の表は一般的なトラブルが発生したときの対処方法をまとめたものです。

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べください。それでも直らない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチを ON () にしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されているか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
[スタート] キーを押してもコピーが排出されない。	タッチパネルに表示されているメッセージ。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	6-4 ページ
白紙が排出される。	原稿が正しくセットされているか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	2-19 ページ
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	2-17 ページ
コピーがうすい。	自動濃度モードの場合。	自動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	使用説明書 応用編の 3 章 参照
	手動濃度モードの場合。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	3-5 ページ
		初期の濃度を変更するときは、手動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	使用説明書 応用編の 3 章 参照
	トナーコンテナのかくはんが十分でない。	トナーコンテナを 10 回程度左右に振ってください。	5-4 ページ
	エコプリントの設定。	エコプリントの設定を「しない」にしてください。	使用説明書 応用編の 1 章 参照
	トナー補給のメッセージが表示されている。	トナーコンテナを交換してください。	5-4 ページ
	用紙が湿っている。	新しい用紙と交換してください。	2-2 ページ
コピーがこい。	自動濃度モードの場合。	自動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	使用説明書 応用編の 3 章 参照
	手動濃度モードの場合。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	3-5 ページ
		初期の濃度を変更するときは、手動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	使用説明書 応用編の 3 章 参照
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿が印刷された写真である。	画質モードを「写真」にしてください。	3-4 ページ
コピーが鮮明でない。	原稿の種類に合った画質モードを選択しているか。	適切な画質モードを選択してください。	3-4 ページ

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーが汚れる。	コンタクトガラスや原稿送り装置の汚れ。	コンタクトガラスや原稿送り装置を清掃してください。	5-2 ページ
コピーがずれる。	原稿が正しくセットされているか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	2-19 ページ
	用紙が正しくセットされているか。	原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	2-17 ページ
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされているか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	2-2 ページ
	用紙の種類や保管状態。	用紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	2-2 ページ
	用紙がカールしたり、折れやしわがあるか。	新しい用紙に交換してください。	2-2 ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っているか。	つまった用紙を取り除いてください。	6-8 ページ
原稿送り装置使用時にコピーに黒いすじが写る。	スリットガラスの汚れ。	スリットガラスを清掃してください。	5-2 ページ
		黒筋軽減処理を設定してください。黒すじをめだたなくすることができます。	使用説明書 応用編の3章 参照
原稿送り装置使用時にコピーに白いすじが写る。	原稿送り装置内部のローラの汚れ。	原稿送り装置内部のローラを清掃してください。	5-2 ページ

こんな表示が出たら

タッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
〇〇カバーを閉じてください。	表示されているカバーが開いていませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
カバーを確認してください。	開いているカバーがありませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
原稿送り装置を閉じてください。	原稿送り装置が開いていませんか。	原稿送り装置を閉じてください。	—
カセット〇をセットしてください。	カセットがしっかりとセットされていますか。	カセットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	—
サイドフィーダをセットしてください。	サイドフィーダ（オプション）が本体に装着されていますか。	サイドフィーダ（オプション）を本体に確実に装着してください。	—
給紙ユニットをセットしてください。	給紙ユニットがしっかりとセットされていますか。	給紙ユニットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	6-12 ページ
用紙補給してください。カセット〇	表示されているカセットの用紙がなくなっていますか。	用紙を補充してください。別のカセットに同じサイズ、同じ向きの用紙がセットされている場合は、タッチパネル左側の用紙選択キーでそのカセットを選択すると、カセットを変更してコピーを再開することができます。	—
用紙が残り少なくなっています。	カセット 1、2 またはサイドフィーダ（オプション）の用紙が少なくなっていますか。	カセット 1、2 またはサイドフィーダ（オプション）に用紙を補充してください。	2-2 ページ 2-7 ページ
サイドフィーダの用紙が多すぎます。 用紙を取り除いてください。	サイドフィーダ（オプション）に最大収納枚数以上の用紙がセットされていませんか。	サイドフィーダ（オプション）にセットする用紙の量を最大収納枚数以下にしてください。	2-7 ページ
手差しに用紙を補給してください。〇〇用紙	手差しに設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	手差しに設定されたサイズの用紙をセットしてください。	2-6 ページ
手差しに用紙がありません。 用紙を補給してください。	手差しの用紙が無くなっていませんか。	手差しに用紙を補充してください。	2-6 ページ
手差しに OHP フィルムをセットしてください。	手差しに OHP フィルムがセットされていますか。	手差しに OHP フィルムをセットしてください。	—
適当な用紙がありません。	現在の設定で利用できるサイズの用紙がセットされていますか。	使用可能なサイズの用紙をセットしてください。	—
原稿の向きが違います。	選択した用紙の方向が原稿の向きと合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。そのまま【スタート】キーを押すと等倍でコピーします。	—
設定用紙サイズと実際の用紙サイズが異なっています。 確認してください。	設定されている用紙がセットされていますか。また設定は正しいですか。	設定されている用紙をセットしてください。また設定が間違っている場合は設定を変更してください。	—
原稿と用紙の向きが違います。	選択した用紙の方向と原稿の向きが合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。	—
原稿をもう一度セットし直してください。	—	原稿送り装置内の原稿を取り出し、そろえてからセットし直してください。	2-17 ページ

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
原稿をもう一度初めからセットしてください。	—	原稿送り装置から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットし直してください。	2-17 ページ
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか。	原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	—
この用紙種はコピーできません。	設定されているコピー機能で使えない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はステープルできません。	ステープルできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はパンチできません。	パンチできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
このサイズは仕分けできません。	仕分けコピーできない用紙サイズ (A3、B4、A5R、B6R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8K) をセットしていませんか。	用紙サイズを変更してください。	—
このサイズはステープルできません。	ステープルできない用紙サイズをセットしていませんか。詳細はドキュメントフィニッシャの使用説明書を参照してください。	用紙サイズを変更してください。	—
このサイズはパンチできません。	パンチできない用紙サイズをセットしていませんか。詳細はドキュメントフィニッシャの使用説明書を参照してください。	用紙サイズを変更してください。	—
ステープルできません。 ____ 枚 最大ステープル枚数	表示されている最大ステープル枚数を超過していませんか。詳細はドキュメントフィニッシャの使用説明書を参照してください。	枚数を表示されている最大ステープル枚数以下にしてください。	—
本体トレイ用紙オーバーです。 用紙を取り除き、スタートキーを押してください。	排紙トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	排紙トレイから用紙を取り出して、 【スタート】 キーを押してください。出力を再開します。	—
本体トレイ用紙オーバーです。 用紙を取り除き、継続キーを押してください。	本機のプリンタ機能を使用している場合、排紙トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	排紙トレイから用紙を取り出して、 【継続】 キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。 (トレイ○) 用紙を取り除き、スタートキーを押してください。	ドキュメントフィニッシャ (オプション) に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ (オプション) のトレイから用紙を取り出して、 【スタート】 キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。 (トレイ○) 用紙を取り除き、継続キーを押してください。	本機のプリンタ機能を使用している場合、ドキュメントフィニッシャ (オプション) に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ (オプション) のトレイから用紙を取り出して、 【継続】 キーを押してください。出力を再開します。	—
選ばれたモードは設定できません。	同時に設定できない機能を選択していませんか。	設定を確認してください。	—
制限枚数終了のためコピーできません。	部門管理モードで設定されている制限枚数を超えていませんか。	部門管理で設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。部門管理でコピーカウントをクリアしてください。	使用説明書 応用編の 4 章 参照

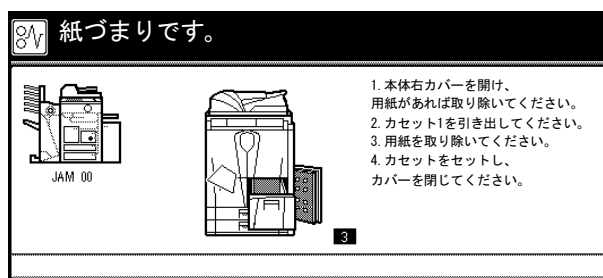
困ったときは

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
キーカウンタをセットしてください。	キーカウンタが正しくセットされていますか。	キーカウンタを奥まで確実にセットしてください。	—
キーカードをセットしてください。	キーカードが正しくセットされていますか。	キーカードを奥まで確実にセットしてください。	—
メモリオバーです。	—	メモリオバーです。読み込みが終了しているページまでを一旦出力するか、読み込まれたデータを消去するか選択してください。どちらかが選択されるまでは、別のコピーや読み込みはできません。	—
メモリオバーです。 文書管理内の登録文書を削除してください。	—	文書管理機能で使用しているボックス内のデータが許容量に達しています。各ボックスに新たな原稿を登録するときは、不必要なデータを削除してください。	使用説明書 応用編の2章 参照
トナーが残り少なくなりました。	—	交換するトナーコンテナを準備してください。	5-4 ページ
コピーできます。 トナーを補給してください。	—	機内のトナーが残り少なくなったので、1枚ずつのコピーしかできません。交換するトナーコンテナを準備してください。	5-4 ページ
トナーを補給してください。 コピーできません。	—	トナーコンテナを交換してください。	5-4 ページ
トナー補給中です。	—	トナーを補給中です。しばらくお待ちください。	—
しばらくお待ちください。 ハードディスク自動調整中です。	—	ハードディスクの調整を行っています。しばらくお待ちください。	—
まもなく廃棄トナーボックスがいっぱいになります。 サービス担当者に連絡してください。 廃棄トナーボックスがいっぱいになりました。 コピーできません。サービス担当者に連絡してください。	—	サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
パンチくずボックスを確認してください。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがいっぱいになっていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）の使用説明書を参照して、ボックス内のパンチくずを取り除いてください。	—
ステープルの針がありません。 針をセットしてください。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）の針が無くなっていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）の使用説明書を参照して、針ケースを交換してください。	—
定期点検の時期です。 定期点検間近です。	—	本機を良好に保つために定期点検が必要です。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
紙づまりです。 用紙を取り除いてください。	—	紙づまりが発生した場合には、紙づまり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチは ON () のまま手順にしたがい、取り除いてください。	6-8 ページ
カセット○を引き出して、機械内部の用紙を確認してください。	カセット内部につまった用紙がありませんか。	カセット内部につまった用紙を取り除いてください。	6-8 ページ
フィニッシャ内部トレイの用紙を取り除いてください。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイに用紙が残っていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイの用紙をすべて取り除いてください。	—
ステープルで針づまりです。 針を取り除いてください。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）でステープルの針がつかっていませんか。	ドキュメントフィニッシャの 使用説明書 を参照して、つまった針を取り除いてください。	—
サービス担当者に電話してください。	前カバーを一度開閉しても、再度表示されますか。	表示されている C と数字を書きとめてください。メインスイッチを OFF (○) にして電源コードを抜き、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
このカセットは使用できません。 他のカセットを選んでください。	—	使用しているカセットは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他のカセットを使用してください。	—
このサイドフィーダは使用できません。 他のカセットを選んでください。	—	サイドフィーダ（オプション）は故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他のカセットを使用してください。	—
手差しは使用できません。 他のカセットを選んでください。	—	手差しは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他のカセットを使用してください。	—
システムエラーです。 主電源を OFF/ON してください。	—	システムエラーが発生しています。メインスイッチをいったん OFF にし、再度 ON にしてください。	—
HDD エラーです。 部門管理を設定できません。	—	ハードディスクでエラーが発生しています。サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
KMAS を確認してください。	—	KMAS ユニットを確認し、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

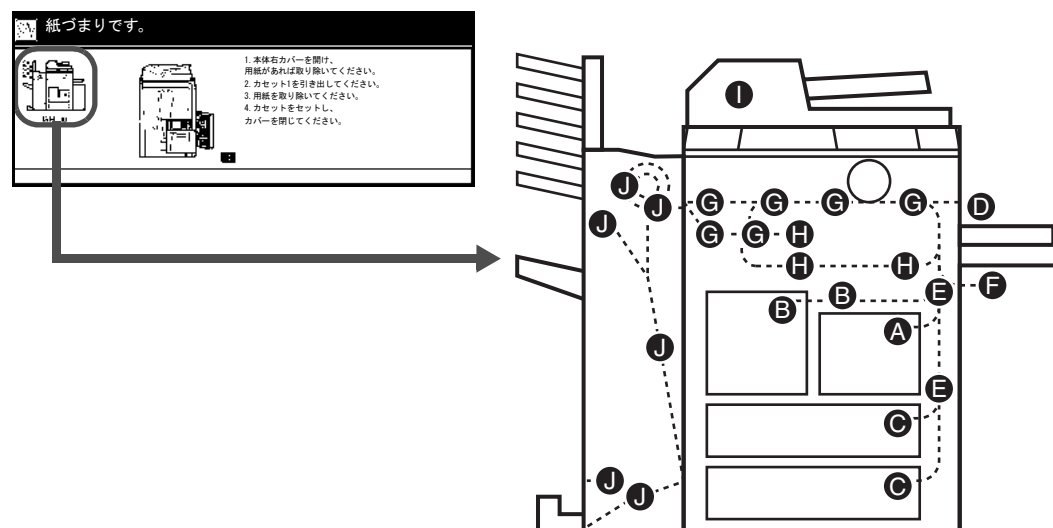
紙づまりが発生したら

紙づまりが発生した場合は、タッチパネルに「紙づまりです。」が表示され、コピーを停止します。以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。



紙づまり位置表示

紙づまりが発生すると、紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。紙づまり位置表示は、下図のように紙づまりが発生している位置を表します。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	カセット 1	6-9 ページ
B	カセット 2	6-10 ページ
C	カセット 3～4	6-13 ページ
D	手差し	6-14 ページ
E	右カバー内部	6-15 ページ
F	サイドフィーダ（オプション）	6-16 ページ
G	搬送ユニット	6-17 ページ
H	両面ユニット	6-21 ページ
I	原稿送り装置	6-22 ページ
J	ドキュメントフィニッシャ（オプション）	6-24 ページ

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットしなおされます。

注意事項

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。
- ドキュメントフィニッシャ（オプション）でつまった用紙は、ドキュメントフィニッシャのトレイに戻さないでください。コピーは再度出力されます。



警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

カセット 1

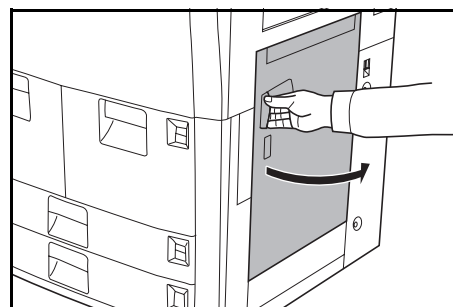
カセット 1 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

紙づまりです。

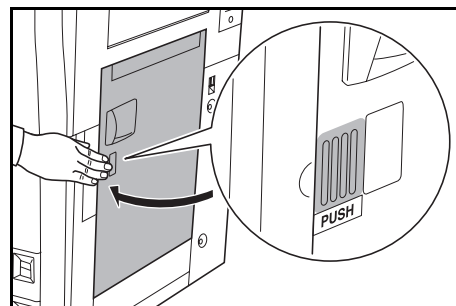
1. 本体右カバーを開け、用紙があれば取り除いてください。
2. カセット1を引き出してください。
3. 用紙を取り除いてください。
4. カセットをセットし、カバーを閉じてください。

3

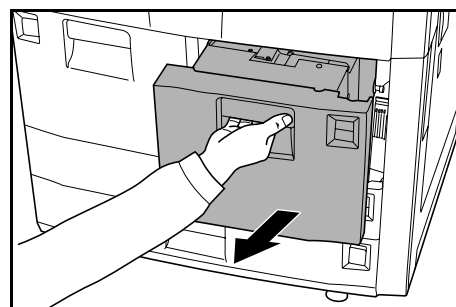
- 1 右カバーを開けて、つまっている用紙があれば取り除いてください



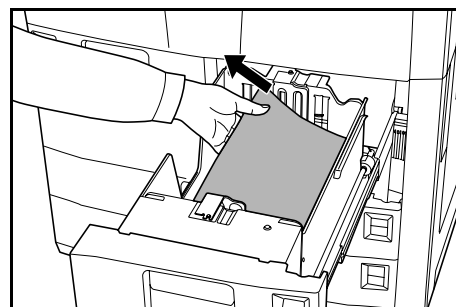
- 2 指定の箇所を押して、右カバーを閉めてください。



- 3 カセット1を引き出してください。



- 4 つまっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

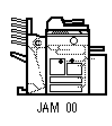


- 5 カセット1を元どおり、確実に押し込んでください。

カセット2

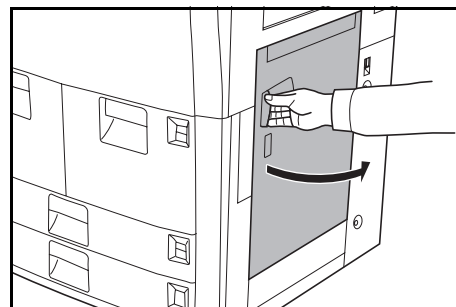
カセット2で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

紙づまりです。

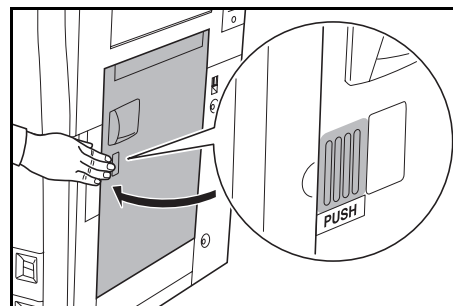


1. 本体右カバーを開け、用紙があれば取り除いてください。
2. 右カバーを閉じてください。
3. カセット2を引き出してください。
4. 用紙を取り除いてください。
5. カセット1を引き出し、前カバーを開けてください。
6. 給紙ユニットC1を引き出し、カバーC2を開け、用紙を取り除いてください。
7. 給紙ユニットC1とカセットをセットしてください。

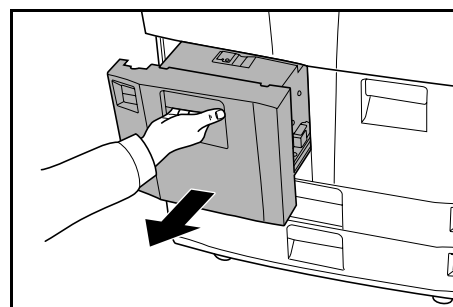
- 1 右カバーを開けて、つまっている用紙があれば取り除いてください。



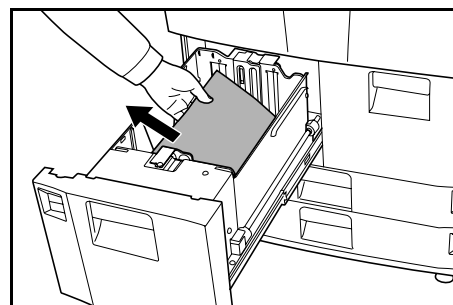
- 2 指定の箇所を押して、右カバーを閉めてください。



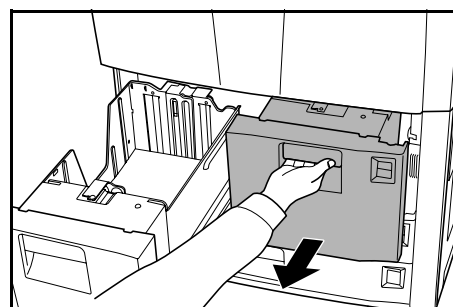
- 3 カセット 2 を引き出してください。



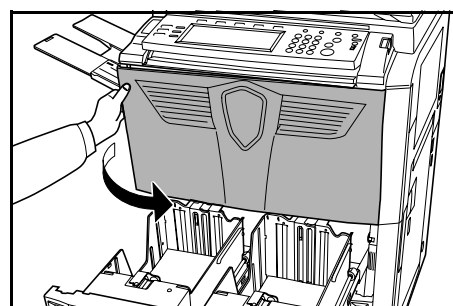
- 4 つまっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



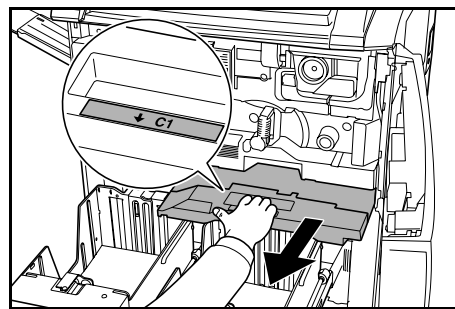
- 5 カセット 2 を引き出したまま、カセット 1 を引き出してください。



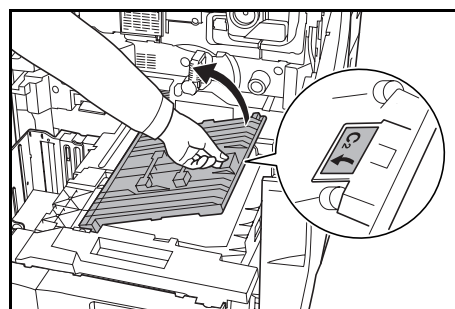
- 6 前カバーを開けてください。



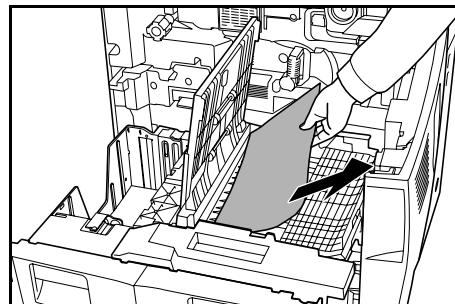
- 7 レバー C1 を引いて、給紙ユニット引き出してください。



- 8 カバー C2 を開けてください。



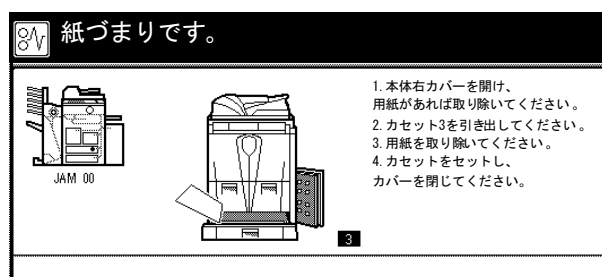
- 9 つままっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



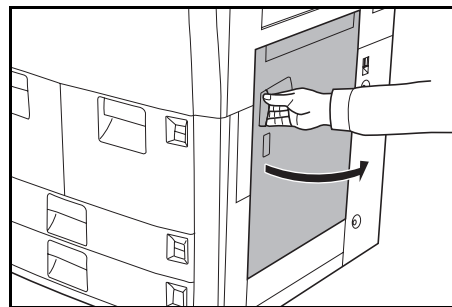
- 10 カバー C2 を閉めて、給紙ユニットを元どおり、確実に押し込んでください。
- 11 カセット 1、2 を元どおり、確実に押し込んでください。
- 12 前カバーを閉めてください。

カセット 3、4

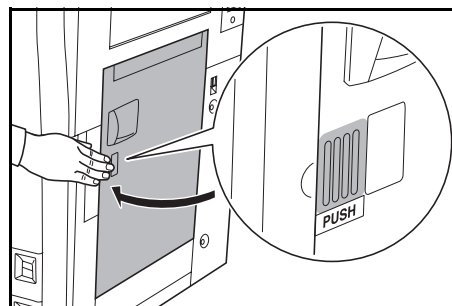
カセット 3 または 4 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。



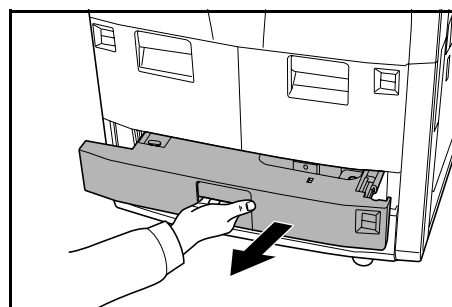
- 1 右カバーを開けて、つまっている用紙があれば取り除いてください。



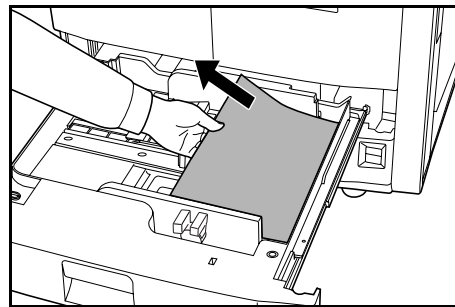
- 2 指定の箇所を押して、右カバーを閉めてください。



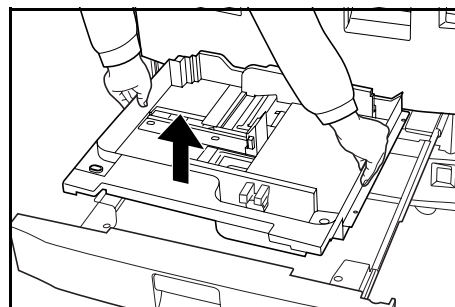
- 3 使用していたカセットを引き出してください。



- 4 つまっている用紙があれば取り除いてください。



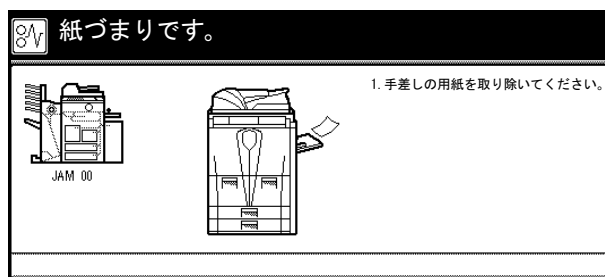
本機内に用紙が残っている場合は、カセットを外してつまっている用紙を取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



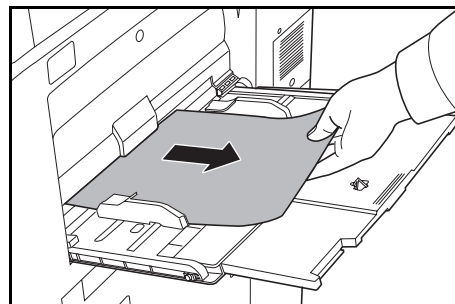
- 5 カセットを元どおり、確実に押し込んでください。

手差し

手差しで紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。



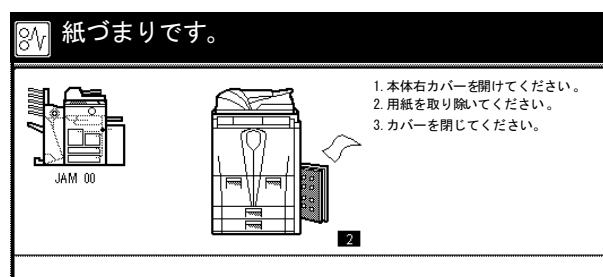
- 1 手差しの用紙をすべて取り除いてください。



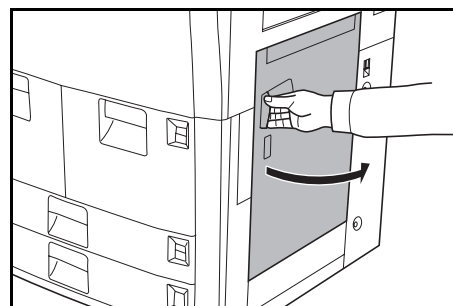
- 2 手差しに用紙をセットし直してください。

右カバー内部

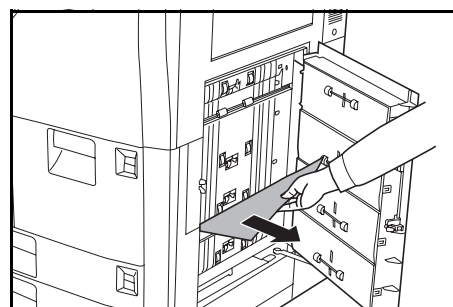
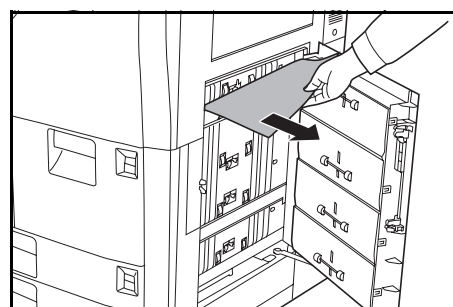
右カバー内部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。



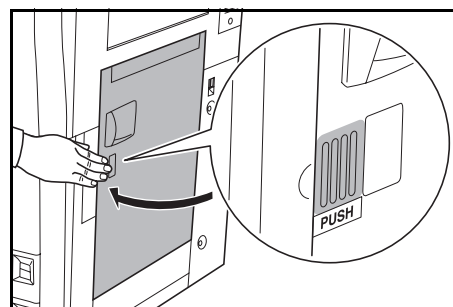
- 1 右カバーを開けてください。



- 2 つまっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

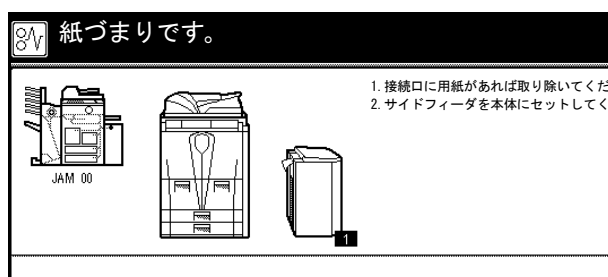


- 3 指定の箇所を押して、右カバーを閉めてください。

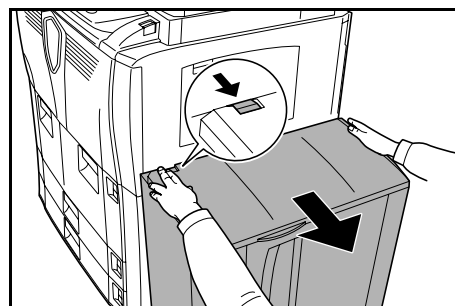


サイドフィーダ（オプション）

サイドフィーダ（オプション）で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

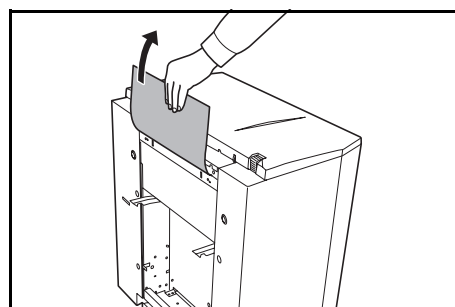
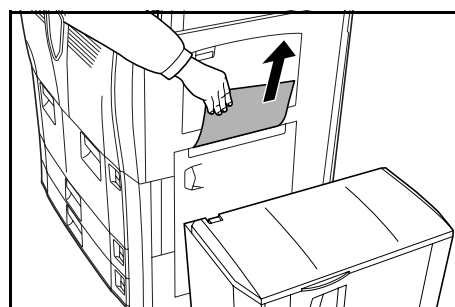


- 1 サイドフィーダ上のボタンを押し、サイドフィーダを本体から離してください。

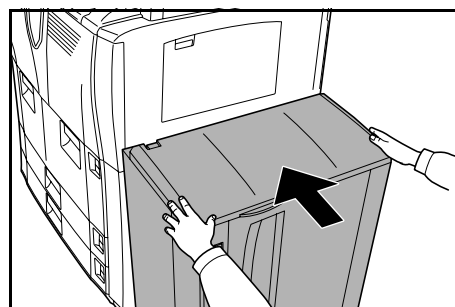


- 2 サイドフィーダ接続口につまっている用紙があれば取り除いてください。

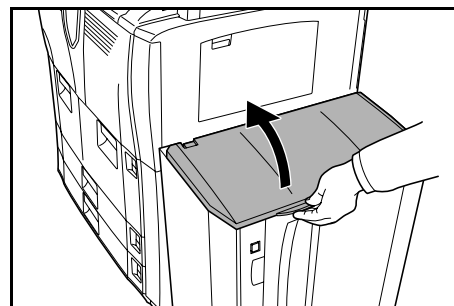
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



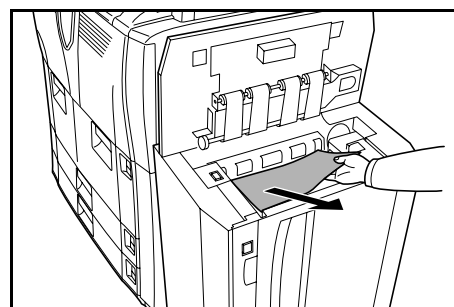
- 3 サイドフィーダを元どおり、本体に装着してください。



- 4 サイドフィーダの上カバーを開けてください。



- 5 つまっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



- 6 サイドフィーダの上カバーを閉めてください。

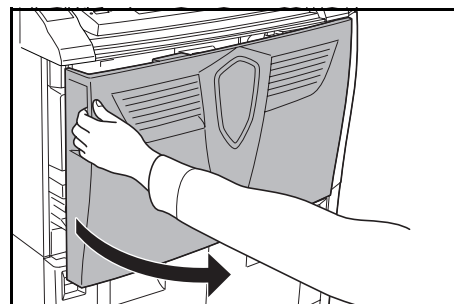
搬送ユニット

搬送ユニットで紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

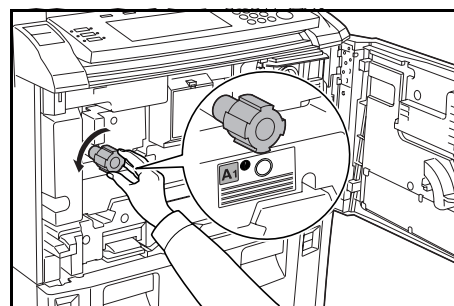
紙づまりです。

1. 左側の緑のノブA1を左に回してください
2. 排出口に用紙があれば取り除いてください
3. 緑のレバーA2を倒してください
4. 右側の緑のノブA3を左に回してください
5. 搬送ユニットA2を引き出してください

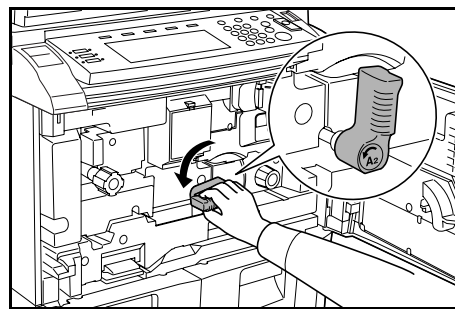
- 1 前カバーを開けてください。



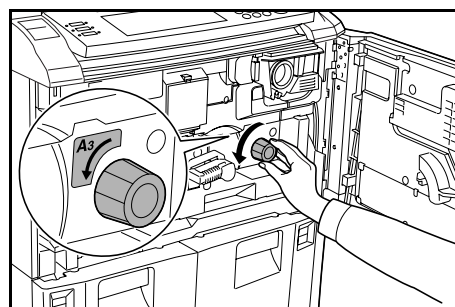
- 2 ノブ A1 を 20 回転以上左に回してください。つまっている用紙が排紙トレイに排出されますので、取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



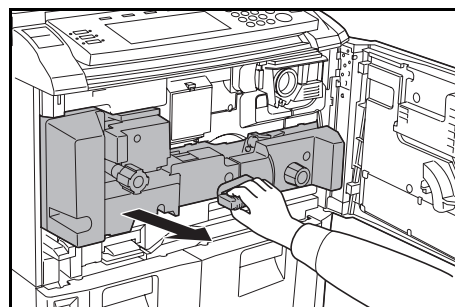
- 3 レバー A2 を左に倒してください。



- 4 ノブ A3 を 8 回転以上左に回してください。つまっている用紙が搬送ユニットに送られます。



- 5 レバー A2 を引いて、搬送ユニットをゆっくり引き出してください。



警告

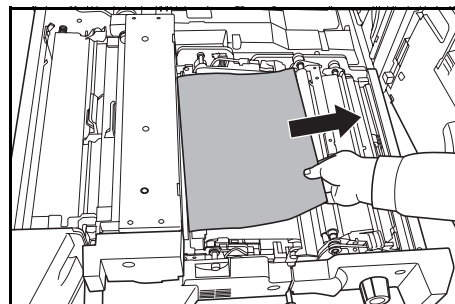
本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



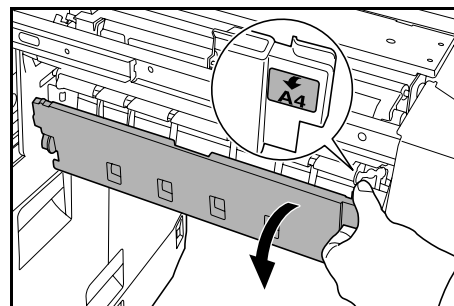
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

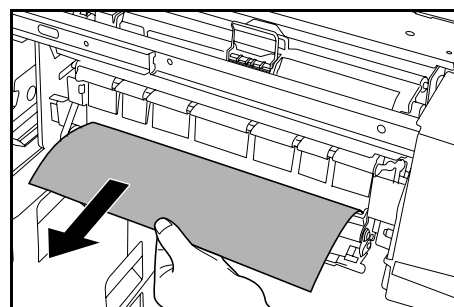
- 6 搬送ユニット上に用紙があれば取り除いてください。



- 7 カバー A4 を開けてください。

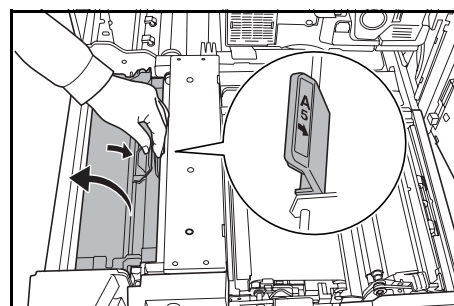


- 8 つまっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

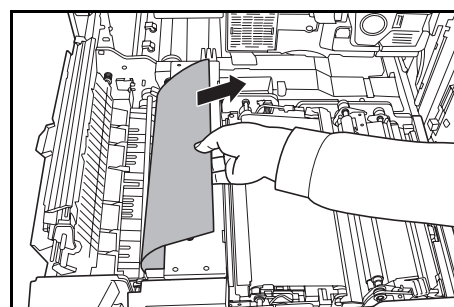


- 9 カバー A4 を閉めてください。

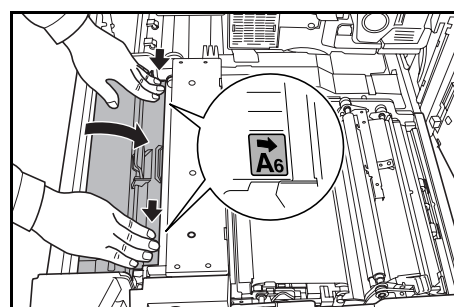
- 10 カバー A5 を開けてください。



- 11 つまっている用紙があれば取り除いてください。
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

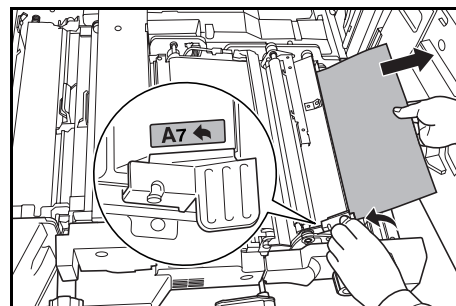


- 12 A6 を押さえて、カバー A5 を確実に閉めてください。



- 13** カバー A7 を開けて、つまっている用紙があれば取り除いてください。

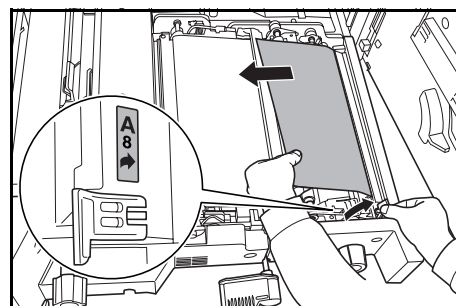
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



- 14** カバー A7 を閉めてください。

- 15** カバー A8 を開けて、つまっている用紙があれば取り除いてください。

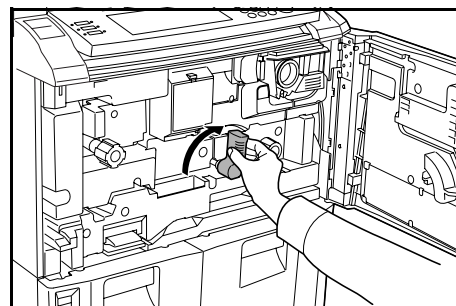
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



- 16** カバー A8 を閉めてください。

- 17** 搬送ユニットを元どおり、確実に押し込んでください。

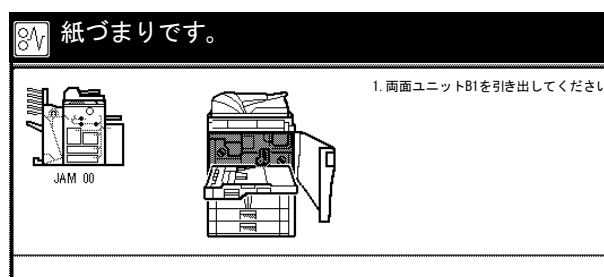
- 18** レバー A2 を元の位置に戻してください。



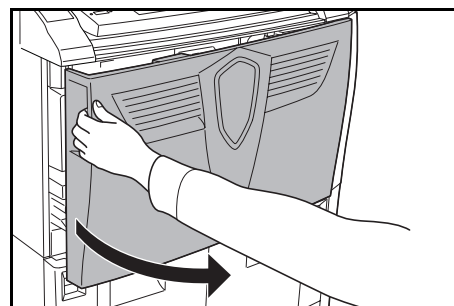
- 19** 前カバーを閉めてください。

両面ユニット

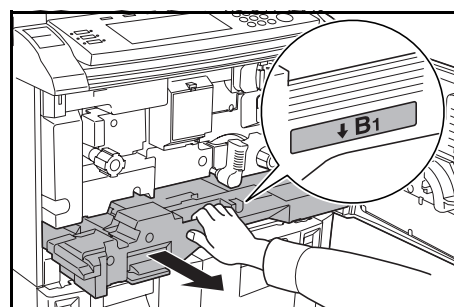
両面ユニットで紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。



- 1 前カバーを開けてください。

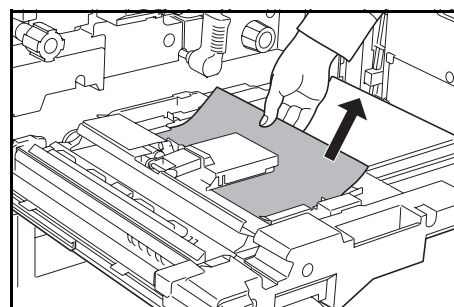


- 2 レバー B1 を引いて、両面ユニットを引き出してください。



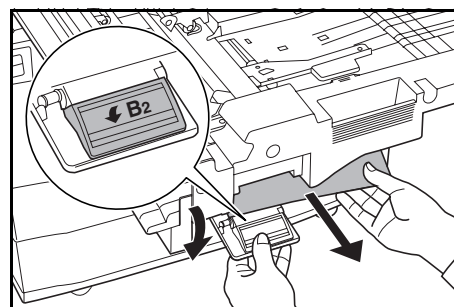
- 3 両面ユニット上に用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



- 4 両面ユニット下側のカバー B2 を開けて、用紙があれば取り除いてください。

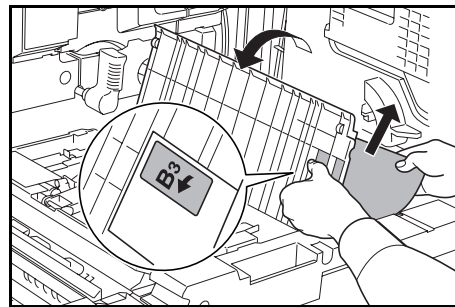
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



- 5 カバー B2 を閉めてください。

- 6 カバー B3 を開けて、用紙があれば取り除いてください。

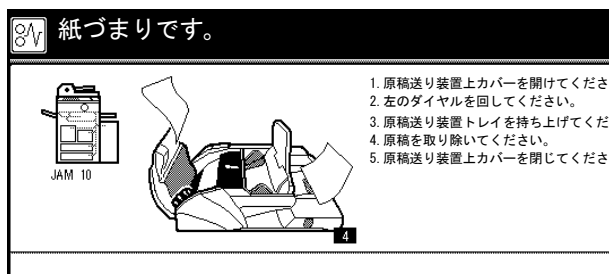
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



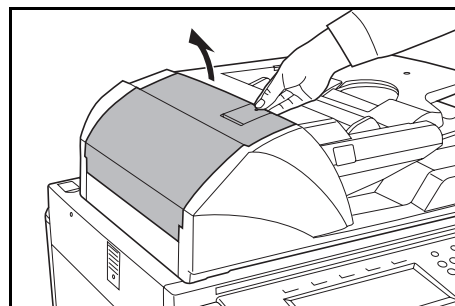
- 7 カバー B3 を閉めてください。
- 8 両面ユニットを元どおり、確実に押し込んでください。
- 9 前カバーを閉めてください。

原稿送り装置

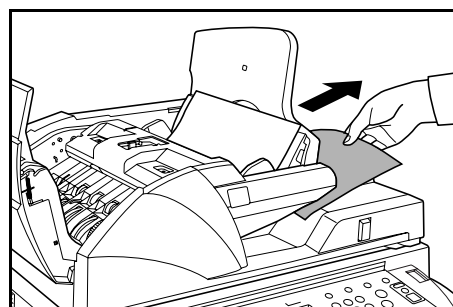
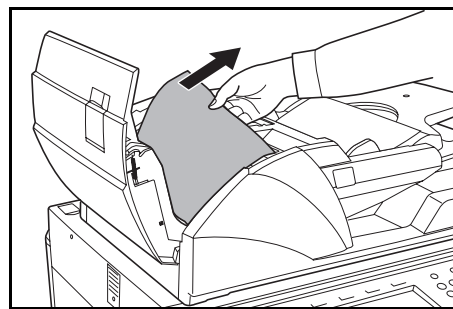
原稿送り装置で原稿がつまったときは、次の手順で原稿を取り除いてください。



- 1 原稿送り装置上カバーを開けてください。

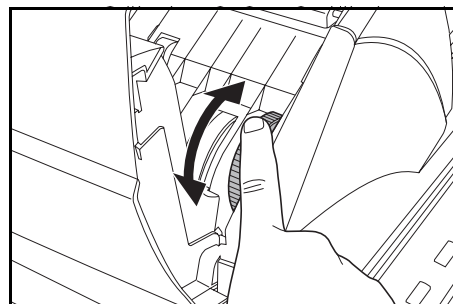


- 2 つまっている原稿を取り除いてください。

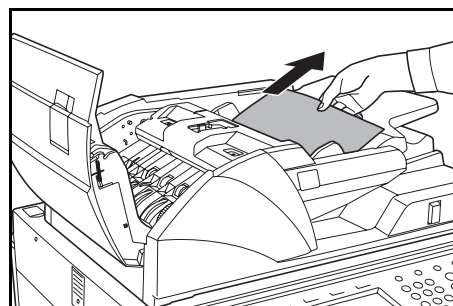


原稿が取り除きにくいときは、ダイヤルを回してください。原稿が取り出しやすい位置に出きます。

原稿が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

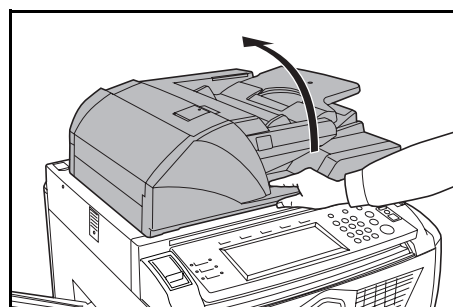


- 3 原稿トレイに残っている原稿を取り除いてください。

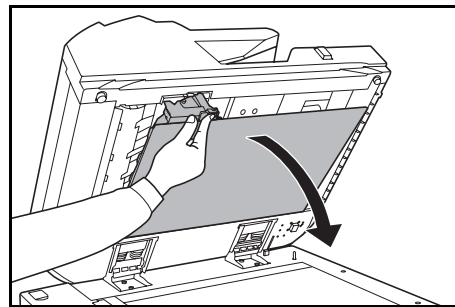


- 4 原稿送り装置上カバーを閉めてください。

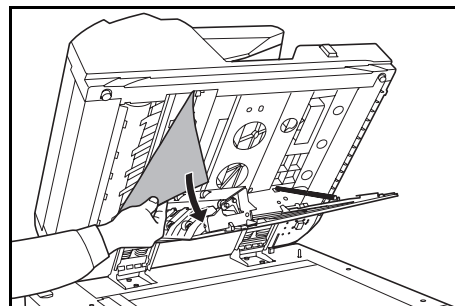
- 5 原稿送り装置を開けてください。



- 6 緑色のレバーを持って、原稿送り装置下カバーを開けてください。



- 7 つまっている原稿があれば取り除いてください。
原稿が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



- 8 原稿送り装置下カバーを閉めてください。
- 9 原稿送り装置を閉めて、原稿トレイに原稿をセットしなおしてください。

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

ドキュメントフィニッシャで紙づまりが発生したときは、ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照して、用紙を取り除いてください。

付録

この章では、本機の仕様を説明します。

- 本体 ... 付録 -2 ページ
- コピー機能 ... 付録 -3 ページ
- サイドフィーダ（オプション） ... 付録 -3 ページ
- ドキュメントフィニッシャ（オプション） ... 付録 -4 ページ
- 環境仕様 ... 付録 -4 ページ

仕様

参考：仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

本体

名称	60 枚機 80 枚機	KM-6030 KM-8030
複写方式	間接静電方式	
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）	
複写サイズ		
カセット 1、2	A4、B5、11 × 8 1/2"	
カセット 3、4	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K	
手差し	A3 ～ A5R、B6R、はがき、11 × 17" ～ 5 1/2 × 8 1/2"、8K、16K、洋形 2 号、洋形 4 号	
両面コピー時 欠け幅	A3 ～ A5R 0.5 ～ 5.5 mm	
使用用紙	使用説明書 応用編の付録、用紙についてを参照してください。	
給紙元容量		
カセット 1、2	1500 枚（80 g/m ² ）2 段	
カセット 3、4	500 枚（80 g/m ² ）2 段	
手差し	100 枚（80 g/m ² ）	
排紙トレイ容量	250 枚（80 g/m ² ）	
ウォームアップタイム	60 枚機	45 秒 低電力モードからの復帰時間：30 秒 スリープモードからの復帰時間：45 秒 （室温 23 °C、湿度 50 %）
	80 枚機	120 秒 低電力モードからの復帰時間：30 秒 スリープモードからの復帰時間：120 秒 （室温 23 °C、湿度 50 %）
メモリ		
ビットマップ	128 MB	
画像蓄積	40 GB	
設置環境		
温度	10 ～ 32.5 °C	
湿度	15 ～ 80 %	
海拔	2,000 m 以下	
電源	AC 100 V 50/60 Hz 15 A	
本体寸法 (W) × (D) × (H)	680 mm × 783 mm × 1190 mm	
質量	約 188 kg	
本体占有寸法 (W) × (D)	1480 mm × 783 mm	

コピー機能

複写速度		
コンタクトガラス (1 : 1)	60 枚機	A3/11 × 17" : 31 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14" : 37 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2" : 60 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11" : 43 枚 / 分 B5 : 60 枚 / 分 B5R : 47 枚 / 分
	80 枚機	A3/11 × 17" : 41 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14" : 50 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2" : 80 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11" : 57 枚 / 分 B5 : 80 枚 / 分 B5R : 62 枚 / 分
原稿送り装置 (1 : 1)	60 枚機	A4/11 × 8 1/2" : 60 枚 / 分
	80 枚機	A4/11 × 8 1/2" : 80 枚 / 分
ファーストコピータイム	60 枚機	3.6 秒以下 (1 : 1、A4/11 × 8 1/2"、コンタクトガラス)
	80 枚機	2.9 秒以下 (1 : 1、A4/11 × 8 1/2"、コンタクトガラス)
解像度		読み取り : 600 × 600 dpi 書き込み : 1800 相当 × 600 dpi
連続複写		1 ~ 9999 枚
複写倍率		25 ~ 400 % (1 % 毎) の任意倍率 原稿送り装置使用時は 25 ~ 200 % および固定倍率

サイドフィーダ (オプション)

給紙方式	エアー給紙方式 (収納枚数 4000 枚 [80 g/m ²])
用紙サイズ	A4、B5
使用用紙	紙厚 : 64 ~ 160 g/m ² 用紙種類 : 普通紙、再生紙、カラーペーパー
本体寸法 (W) × (D) × (H)	371 mm × 589 mm × 693 mm
質量	約 41 kg 以下

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

トレイ数	2 トレイ
用紙サイズ	
トレイ A （ノンステープル時）	A3、B4：1500 枚 A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R：3000 枚 はがき：50 枚
トレイ B	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R：200 枚 はがき：50 枚
使用用紙の厚さ	トレイ A/B：45 ～ 200 g/m ² ステープル時：60 ～ 200 g/m ² パンチ時（オプション）：45 ～ 200 g/m ²
ステープル制限枚数	B4、A3：30 枚、A4、A4R、B5：50 枚 [用紙の厚さ 80 g/m ² 以下]
本体寸法 (W) × (D) × (H)	796 mm × 640 mm × 1070 mm
質量	約 73 kg

環境仕様

低電力モードからの復帰時間	30 秒
低電力モード移行時間（出荷時設定）	15 分
スリープモード移行時間（出荷時設定）	90 分
両面機能	標準
給紙搬送性	古紙 100 % 配合紙使用可能
参考：推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。	

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式は次の2つの方式があります。

チャージ方式

トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様のご要請のつど料金を申し受ける方式です。

詳しくは販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

契約書について

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様は「コピーチャージ契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社ブランチが必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーチャージ契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社ブランチへご連絡ください。ただちに発行手続きを致します。

参考：アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは、最寄りの弊社ブランチへお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用後、不要になりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

索引

○

OHP 合紙モード iii

あ

アース xiii

暗証番号 2-10

安全に正しくお使いいただくために

絵表示 x

機械を設置する時のご注意 xii

電源 xiii

取り扱い上のご注意 xiv

法律上のご注意 viii

注意表示 x

注意ラベル xi

い

イメージ合成コピー ii

う

ウォームアップ 3-2

え

エコプリント iii

エネルギースタープログラム ix

絵表示 x

お

応用コピー iv

オートスリープモード 3-20

オプション

キーカード 4-4

キーカウンタ 4-4

サイドフィーダ 4-3

セキュリティキット 4-5

ドキュメントフィニッシャ 4-3

プリンタ/スキャナキット 4-5

オプション構成 4-2

か

解像度 付録-3

書き込み余白コピー ii

各部の名称 1-1

画質の選択 i, 3-4

写真 3-4

文字 3-4

文字 + 写真 3-4

カセット

カセット 1 1-2, 2-2, 6-9

カセット 2 1-2, 2-2, 6-10

カセット 3 1-2, 2-4, 6-13

カセット 4 1-2, 2-4, 6-13

紙づまり 6-9, 6-10, 6-13

用紙サイズの設定 2-9

用紙種類の設定 2-11

用紙の補給 2-2, 2-4

紙づまり

カセット 1 6-9

カセット 2 6-10

カセット 3, 4 6-13

原稿送り装置 6-22

サイドフィーダ 6-16

手差し 6-14

ドキュメントフィニッシャ 6-24

搬送ユニット 6-17

右カバー内部 6-15

両面ユニット 6-21

紙づまり位置表示 6-8

紙づまりが発生したら 6-8

環境仕様 付録-4

き

キーカード 4-4

セット方法 4-4

キーカウンタ 4-4

セット方法 4-4

機械を設置する時のご注意 xii

機能一覧 i

[機能リスト] 画面 1-7

[基本] 画面 1-7

基本的なコピー 3-2

給紙ユニット 1-5, 6-12

鏡像コピー iii

け

原稿送り装置 1-2

紙づまり 6-22

原稿のセット 2-17

使用上の注意 2-17

清掃 5-2

原稿送り装置上カバー 1-4, 6-22

原稿送り装置角度調整レバー 1-4, 2-19
原稿送り装置下カバー 1-3, 6-24
原稿サイズ混載コピー iii
原稿サイズ指示板 1-3, 2-19
原稿セット表示 1-4
原稿挿入ガイド 1-4, 2-18
原稿トレイ 1-4
原稿のセット
 原稿送り装置 2-17
 コンタクトガラス 2-19
原稿排紙テーブル 1-4

こ

固定変倍 i, 3-6, 3-8
コピー
 画質の選択 3-4
 縮小 / 拡大コピー 3-6
 スリープモード 3-20
 ソートコピー 3-16
 低電力モード 3-19
 濃度調整 3-5
 分割コピー 3-14
 予約コピー 3-18
 両面コピー 3-11
 割り込みコピー 3-17
コピー機能 付録 -3
コピー禁止事項 xvi
コンタクトガラス 1-3
 原稿のセット 2-19
 清掃 5-2
こんな表示が出たら 6-4

さ

再コピー iii
サイドフィーダ 4-3
 紙づまり 6-16
 用紙の補給 2-7
 仕様 付録 -3

し

自動回転コピー iii
自動低電力モード 3-19
自動濃度モード 3-5
自動倍率 i, 3-6
写真 3-4
週間予約 iv
集約コピー ii
縮小 / 拡大コピー 3-6
出力管理 iv

手動濃度モード 3-5
仕様
 環境仕様 付録 -4
 コピー機能 付録 -3
 サイドフィーダ 付録 -3
 ドキュメントフィニッシャ 付録 -4
 本体 付録 -2
小冊子 ii
使用前の準備 2-1
ジョブ結合ボックス iv
白黒反転コピー iii
仕分けコピー ii

す

ズームコピー i, 3-6, 3-7
スライダ 1-2, 2-6
スリープモード ix, 3-20
スリットガラス 5-2

せ

清掃
 原稿送り装置、コンタクトガラス 5-2
 スリットガラス 5-2
清掃用布ケース 1-4
セキュリティキット 4-5
センター移動コピー ii

そ

操作パネル 1-2, 1-6
操作パネルロックレバー 1-2, 3-3
ソートコピー i, 3-16

た

タッチパネル 1-7
縦ガイド 1-5, 2-4
縦サイズ変更つまみ 1-5, 2-4
たてよこ独立変倍 i, 3-6, 3-9
試しコピー iii

ち

共有蓄積ボックス iv
注意ラベルについて xi

て

低電力モード ix, 3-19
手差し 1-2
 紙づまり 6-14
 用紙サイズの設定 2-12
 用紙種類の設定 2-15

用紙の補給 2-6

手差し補助トレイ 1-2, 2-6

電源 xiii

電源コード 1-3

伝票原稿コピー iii

と

ドキュメントフィニッシャ 4-3

紙づまり 6-24

仕様 付録-4

とじしろコピー ii

トナーコンテナ 1-5, 5-4

トナーコンテナ解除レバー 1-5

トナーコンテナの交換 5-4

トラブルが発生した場合 6-2

取り扱い上のご注意 xiv

の

濃度調整 i, 3-5

自動濃度モード 3-5

手動濃度モード 3-5

ノブ A1 1-5, 6-17

ノブ A3 1-5, 6-18

は

排紙ガイド 1-4, 2-18

排紙トレイ 1-3, 3-3

搬送ユニット 1-5, 6-17

搬送用ノブ 1-2, 1-3

ひ

表紙付け ii

ふ

ファーストコピータイム 付録-3

フォーム用ボックス iv

複写速度 付録-3

部門管理 iv

プリンタ/スキャナキット 4-5

〔プログラム〕画面 1-7

プログラムコピー iii

分割コピー i, 3-14

へ

ページ付け ii

ま

前カバー 1-3

み

右カバー 1-2, 6-15

め

名称

操作パネル 1-6

タッチパネル 1-7

本体 1-2

メインスイッチ 1-3, 3-2

メインスイッチカバー 1-3

メンテナンス 5-1

も

文字 3-4

文字+写真 3-4

ゆ

〔ユーザ機能〕画面 1-7

よ

用紙

カセット 1, 2 2-2

カセット 3, 4 2-4

サイズ 2-9, 2-12

種類 2-11, 2-15

サイドフィーダ 2-7

注意 2-2

手差し 2-6

用紙の補給 2-2

横ガイド 1-5, 2-4

横サイズ変更つまみ 1-5, 2-4

予約コピー 3-18

り

両面コピー i, ix, 3-11

両面ユニット 1-5, 6-21

れ

レバー A2 1-5, 6-18

連続読み込みコピー iii

わ

枠消しコピー ii

割り込みコピー 3-17

MEMO

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

お 客 様
相 談 窓 口



0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。<http://www.kyoceramita.co.jp>